

第3次加須市行政経営プラン 進行管理調書（実施状況報告書）

「協働力」の向上

基本目標 1 シティプロモーションの推進

施策 (1) 広報活動の充実

取組項目群 ① わかりやすい広報

資料 5

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことこの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
1	情報提供の充実	4・大幅に遅れている	-	指標(単位) 市公式SNSへの動画投稿件数 【令和元年度：200】 (件)	・イベント等取材・編集した動画を各SNSにて配信してきたが、マンネリ化してきている。令和6年度には、3つのテーマを定め、これまでと構成を変えた動画を本数を絞って作成することとした。
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
				目標 210 220 230 240 250	
				実績 110 125 77	
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・週1本以上のペースで動画を配信したが、目標値を大幅に下回ったため。 ・本項目の取組内容である分かりやすい行政情報の提供のため、動画に限らず、広報紙のビジュアル力の向上、ホームページ掲載内容の充実に取り組むとともに、各SNSの特性に応じた情報発信を行った。	
2	“役所ことば”の改善	2・概ね達成	1・目標を達成	指標(単位) 窓口対応等実態調査における「身だしなみ・言葉遣い」についての満足度の割合 【令和元年度：81】 (%)	・窓口対応等実態調査の結果を基に、引き続き職員の接客能力の向上と窓口環境の改善を図る。 ・各種研修の機会を捉え、全職員への啓発に取り組む。
			年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
			目標 80 - 80 - 80		
			実績 82.5 / 83.8		
			1・目標を達成	指標(単位) 窓口対応等実態調査における「説明の分かりやすさ」についての満足度の割合 【令和元年度：83】 (%)	
			年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
			目標 85 - 85 - 85		
			実績 84.1 / 85		
			3・やや遅れている	指標(単位) 役所ことば改善の手引きの活用数 【令和元年度：1】 (回)	
			年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
			目標 2 2 2 2 2		
			実績 1 1 1		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・窓口対応等実態調査を実施した（R5.10/2～10/31）。 ・役所ことば改善の手引きを活用し、新規採用職員研修で意識啓発を実施した。 ・「窓口対応等実態調査」の数値について目標値を上回ったが、「役所ことば改善の手引き」の活用数について目標値を下回ったため、本評価とした。		

「協働力」の向上

基本目標 1 シティプロモーションの推進

施策 (1) 広報活動の充実

取組項目群 ② 多様な広報媒体の活用

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
3	SNSの推進	1・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位) 市公式SNS等のフォロワー数 【令和元年度：12,005】 (数)	・更なるSNSの有効活用と、積極的な情報提供を行う。
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
				目標 18,000 54,500 57,000 59,500 62,000	
				実績 60,470 66,218 65,220	
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナワクチン接種の予約方法の一つとして、LINEの登録者数が大幅に増加した結果、市公式SNS等のフォロワー数が目標値を大幅に上回ったため、本評価とした。。なお、加須市暮らし応援アプリ「かぞっぶ」廃止に伴い、前年度より全体としてフォロワーは減少した。	
4	メール配信の充実	3・ や や 遅 れ て い る	-	指標(単位) 市人口に対する「かぞっとメール」の実登録者の割合 【令和元年度：14】 (%)	・引き続き、市ホームページや広報紙に利用案内を掲載し周知を図る。 ・今後は、防災行政無線やLINEの連携を踏まえ、行政情報配信の充実を図る。
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
				目標 18 20 22 23 25	
				実績 16.1 16.1 14.4	
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・かぞっとメールの周知と利用案内について、市ホームページや広報紙に掲載するとともに、転入者にチラシ配布等を行ったものの、登録者が減少し、実績値が目標値を下回ったため、本評価とした。	

「協働力」の向上

基本目標 1 シティプロモーションの推進

施策 (2) 市の魅力発信の充実

取組項目群 ① 市の魅力の発信強化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
5	シティセールスの推進	1・目標を達成	-	指標(単位) 市公式ホームページ「魅力発信かぞ」の更新回数 (回) 【令和元年度：2】 <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・更新回数が、目標値に達したため、本評価とした。 ・令和6年2月以降、シティプロモーション課で更新する方式から、各課で更新する方式に改め、より速やかな情報更新を可能とした。 ※魅力発信かぞは、現在、市公式ホームページ魅力発信サイト内「市の魅力」となっている。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	3	3	3	3	3	実績	3	3	3			・シティプロモーション方針のターゲット（30代の子育て世代）に向け、効果的なPRを行う。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	3	3	3	3	3																		
実績	3	3	3																				
6	パブリシティの推進	2・概ね達成	-	指標(単位) パブリシティ年間情報提供の件数 【令和元年度：456】 (件) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>460</td><td>470</td><td>480</td><td>490</td><td>500</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>461</td><td>524</td><td>478</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・積極的な情報提供に努め、実績値が目標値の99.5%に達したため、本評価とした。 ・実際に市が報道された件数は、令和4年度470件、令和5年度は485件と増加している。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	460	470	480	490	500	実績	461	524	478			・マスメディアによるPRは今後も有効であるため、引き続き、積極的な情報提供を行う。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	460	470	480	490	500																		
実績	461	524	478																				
7	市民カメラマンとの連携	3・やや遅れている	-	指標(単位) 広報紙やホームページ等に掲載した写真の件数 【令和元年度：240】 (件) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>250</td><td>120</td><td>120</td><td>120</td><td>120</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>49</td><td>52</td><td>88</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・広報紙等に掲載した件数は、広報紙のリニューアルに伴う掲載枠の変更等により減少し、目標値を下回ったため。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	250	120	120	120	120	実績	49	52	88			・令和6年度から市民カメラマン撮影写真をSNSに掲載するなどの活用をすることとした。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	250	120	120	120	120																		
実績	49	52	88																				
8	フィルムコミッション事業の推進	4・大幅に遅れている	-	指標(単位) フィルムコミッション情報提供の件数 【令和元年度：70】 (件) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>47</td><td>30</td><td>25</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内のロケーションを有効に活用していただくようホームページ掲載内容の充実を図ったものの、情報提供件数が目標値を下回ったため。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	80	80	80	80	80	実績	47	30	25			・引き続き、市内ロケーションに関する情報提供を積極的に行い、誘致に努める。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	80	80	80	80	80																		
実績	47	30	25																				

「協働力」の向上

基本目標 2 広聴の推進

施策 (1) 対話の推進

取組項目群 ① 市民との対話の推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 達成率の 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																														
9	市政についての話し合いの開催			<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">市政についての話し合いに参加した人数 (人)</td></tr> <tr> <td></td><td colspan="5">【令和元年度：1,009】</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>1,010</td><td>1,020</td><td>1,030</td><td>1,040</td><td>1,050</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>0</td><td>対象外</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 * 令和4年度から「出前市長室」及び「市政についての話し合い」を「市長と語るタウンミーティング」として再編	指標(単位)	市政についての話し合いに参加した人数 (人)						【令和元年度：1,009】					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	1,010	1,020	1,030	1,040	1,050	実績	0	対象外				タウンミーティングへ再編済
指標(単位)	市政についての話し合いに参加した人数 (人)																																		
	【令和元年度：1,009】																																		
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																														
目標	1,010	1,020	1,030	1,040	1,050																														
実績	0	対象外																																	
10	出前市長室の推進			<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">出前市長室に参加した人数 【令和元年度：191】 (人)</td></tr> <tr> <td></td><td colspan="5"></td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>62</td><td>対象外</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ※ 令和4年度から「出前市長室」及び「市政についての話し合い」を「市長と語るタウンミーティング」として再編	指標(単位)	出前市長室に参加した人数 【令和元年度：191】 (人)											年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	200	200	200	200	200	実績	62	対象外				タウンミーティングへ再編済
指標(単位)	出前市長室に参加した人数 【令和元年度：191】 (人)																																		
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																														
目標	200	200	200	200	200																														
実績	62	対象外																																	
10-1	市長と語るタウンミーティングの実施	1・目標を達成	-	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">市長と語るタウンミーティングに参加した人数 (人)</td></tr> <tr> <td></td><td colspan="5"></td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td></td><td>140</td><td>200</td><td>300</td><td>320</td></tr> <tr> <td>実績</td><td></td><td>325</td><td>307</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・ 広報紙や市ホームページ等で周知を実施したことにより、多くの団体からの依頼があり、ミーティング当日も多くの方にご参加いただけたことから、目標を達成することができた。	指標(単位)	市長と語るタウンミーティングに参加した人数 (人)											年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標		140	200	300	320	実績		325	307			・ 今後も市民からの市政に対する意見及び要望等の効果的な聴取方法や反映方法を検討していく。
指標(単位)	市長と語るタウンミーティングに参加した人数 (人)																																		
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																														
目標		140	200	300	320																														
実績		325	307																																

「協働力」の向上

基本目標 2 広聴の推進

施策 (2) 広聴活動の充実

取組項目群 ① 意見聴取の機会の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
11	市民意識調査の実施	1・目標を達成	-	指標(単位)	市民の意識や満足度等の現状値を把握し政策形成に活用した回数 【令和元年度：1】					(回)	・計画策定や事業推進に当たり、市民意識調査を通じてタイムリーな情報を徴取することは非常に有効であることから、今後も継続していく。 ・アンケート結果を分析し、的確に政策に反映させる。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	1	1	1	1	1		
				実績	4	2	1				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・計画策定に当たり市民意識調査を実施し、現行計画の進捗及びニーズを把握した上で次期計画策定の基礎資料としたため、目標を達成した。 ・令和5年度にアンケート調査を実施した計画 「加須市子ども・子育て支援計画」							
12	市長への手紙・メールへの適切な対応	3・やや遅れている	-	指標(単位)	市長への手紙・メールの14日以内の回答率 【令和元年度：53】					(%)	・引き続き、担当部長を中心とした対応により、迅速かつ適切で、より丁寧な回答をする。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	70	70	70	70	70		
				実績	80.25	55.28	52.74				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・回答内容の確認のため、担当部との調整に時間を要したことから、期間内（14日以内）での回答率が目標値を下回ったため。							

「協働力」の向上

基本目標 2 広聴の推進

施策 (2) 広聴活動の充実

取組項目群 ② 審議会などへの市民の登用

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
13	審議会などへの若手や女性委員の登用	2・概ね達成	-	指標(単位)	審議会等委員のうち女性の割合 【令和元年度：30】 (%)					・「女性人材リスト」への登用を推進し、リストを充実させ、審議会等の委員の選出について、「女性人材リスト」の活用を呼びかけ、女性委員の登用率の向上を図る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	30	32	34	36	40	
				実績	30.3	30.2	28.7			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・女性人材リスト登録者の募集や、庁内審議会等における女性委員の積極的な登用の呼びかけを行った。前年度より割合は減少したが、目標値の8割以上を達成した。 ・指標実績値：28.7% (審議会等委員のうち女性 135人/審議会等委員 470人)							

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進
 取組項目群 ① 地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
14	空家の対策・活用	3・ やや遅 れている	3・ やや遅 れている	指標(単位)	問題のある空家数【令和元年度：191】					(戸)	・引き続き、管理不全の空家を解消するため、所有者等に対して適正管理の指導等を行うとともに、空家バンク等の活用により、空家の利活用を促進する。	
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
				目標	170	160	150	140	130			
				実績	187	175	198					
				指標(単位)	空家バンクの成約数(累計)【令和元年度：0】					(戸)		
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
				目標	4	6	8	10	12			
				実績	6	6	7					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】								
				・問題のある空家については、年度により変動はあるが取壊しも含め改善等が図られている。しかし、空家等になった経緯や要因など様々であり、解決等に時間を要する物件もあることから、目標を達成することができなかった。 ・空家バンク及び空家バンク以外による市場流通も順調に推移している。								
15	市民とともに子供たちの学力向上を推進	1・ 目標を達成	1・ 目標を達成	指標(単位)	「加須まなびTime」に指導者としてご協力いただいている地域の方の割合【令和元年度：73】					(%)	・引き続き、参加生徒への支援を拡充するため、学習サポーターの確保及び配置を行う。特に、教育実習生に関する情報を各校と密に連携・共有していく。	
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
				目標	75	75	78	78	80			
				実績	83	100	89					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】								
				・前年度に熱心に取り組んでいたコーディネーター・サポーターには引き続き指導者として依頼した。また、新たに加須市在住の大学生や教育実習生を指導者として加え、各会場に適切に配置することができ、参加生徒の学力向上、学習支援に寄与した。								
				指標(単位)	簡易な道路維持管理を行う自治協力団体への支援率【令和元年度：100】					(%)		・引き続き、PRや支援を行っていく。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
				目標	100	100	100	100	100			
				実績	100	100	100					
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】												
・自治協力団体が生活道路の砂利敷きを行う際に、原材料提供の依頼を受けたものについては全て対応した。												

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (1) 市民と行政との協働の推進

取組項目 ① 地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																																																								
17	水防協力員の適正配置	1・目標を達成	1・目標を達成	<table><tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">水防協力員の配置が適切に行われた率 【令和元年度：100】</td><td>(%)</td></tr><tr><td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td><td></td></tr><tr><td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">水防協力員の人数【令和元年度：34】</td><td>(人)</td></tr><tr><td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td><td></td></tr><tr><td>目標</td><td>34</td><td>34</td><td>34</td><td>34</td><td>34</td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>36</td><td>36</td><td>35</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 水防協力員に必要な備品等を配布し、溢水等による二次的被害に備えた。 - 加須 10地区 27名 - 騎西 1地区 2名 - 北川辺 1地区 2名 - 大利根 2地区 4名	指標(単位)	水防協力員の配置が適切に行われた率 【令和元年度：100】					(%)	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		目標	100	100	100	100	100		実績	100	100	100				指標(単位)	水防協力員の人数【令和元年度：34】					(人)	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		目標	34	34	34	34	34		実績	36	36	35				・引き続き、より有効的な水防協力員の適正配置に努める。
指標(単位)	水防協力員の配置が適切に行われた率 【令和元年度：100】					(%)																																																							
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																								
目標	100	100	100	100	100																																																								
実績	100	100	100																																																										
指標(単位)	水防協力員の人数【令和元年度：34】					(人)																																																							
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																								
目標	34	34	34	34	34																																																								
実績	36	36	35																																																										
18	消防団員の確保	2・概ね達成	-	<table><tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">消防団員数【令和元年度：430】</td><td>(人)</td></tr><tr><td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td><td></td></tr><tr><td>目標</td><td>445</td><td>445</td><td>445</td><td>445</td><td>445</td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>420</td><td>416</td><td>400</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 条例定数に対して45名の欠員が生じている。 - 前年より減員したが、次の取組を実施し、目標値の約9割に達したため、本評価とした。 5月3日の市民平和祭にて、学生消防団員による団員募集の啓発活動を実施した。 7月4日、6日に平成国際大学で機能別学生消防団員募集説明会を実施し、5名が入団した。 12月22日に自治協力団体連合会役員会において、消防団員の候補者の推薦について依頼した。 - 欠員している地区の自治協力団体代表者へ消防団員の候補者の推薦について文書により依頼した。 - 市職員向けにグループウェア（庁内情報共有システム）による消防団員募集について周知を実施した。 - 出勤報酬を新設し、処遇改善を行った。	指標(単位)	消防団員数【令和元年度：430】					(人)	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		目標	445	445	445	445	445		実績	420	416	400				・消防団の現状を踏まえ、消防団施設及び設備の充実を図る。																												
指標(単位)	消防団員数【令和元年度：430】					(人)																																																							
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																								
目標	445	445	445	445	445																																																								
実績	420	416	400																																																										
19	地域による防災体制の構築	3・やや遅れている	4・大幅に遅れている	<table><tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">自主防災組織に対する自主防災訓練の実施数の割合 【令和元年度：22】</td><td>(%)</td></tr><tr><td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td><td></td></tr><tr><td>目標</td><td>24</td><td>26</td><td>29</td><td>31</td><td>33</td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>5.1</td><td>9.5</td><td>9.4</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">自主防災組織の組織率【令和元年度：86】</td><td>(%)</td></tr><tr><td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td><td></td></tr><tr><td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>92.7</td><td>92.7</td><td>93.9</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、感染予防の点から即座に自主防災訓練を実施するまでには至らなかった。 - 自主防災組織未設立団体代表者に対し、設立に必要な書式例を作成し、自主防災組織設立に関する依頼を行った。	指標(単位)	自主防災組織に対する自主防災訓練の実施数の割合 【令和元年度：22】					(%)	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		目標	24	26	29	31	33		実績	5.1	9.5	9.4				指標(単位)	自主防災組織の組織率【令和元年度：86】					(%)	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		目標	100	100	100	100	100		実績	92.7	92.7	93.9				・防災士を全自主防災組織に配置し、防災士連絡会で各自主防災組織の実施状況を確認する。 ・自主防災組織への出前講座や訓練実施の案内を年1回行っているが、年度途中に実施又は計画がない自主防災組織には、再度案内を行う。 ・自主防災組織未設立団体に個別に連絡を行い、設立を促進する。
指標(単位)	自主防災組織に対する自主防災訓練の実施数の割合 【令和元年度：22】					(%)																																																							
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																								
目標	24	26	29	31	33																																																								
実績	5.1	9.5	9.4																																																										
指標(単位)	自主防災組織の組織率【令和元年度：86】					(%)																																																							
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																								
目標	100	100	100	100	100																																																								
実績	92.7	92.7	93.9																																																										

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進
 取組項目群 ① 地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
20	地域における防災リーダー育成の推進	1・目標を達成	-	指標(単位) 防災研修会及び出前講座参加者数 (人) 【令和元年度：3,224】 <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>1,250</td><td>1,250</td><td>1,250</td><td>1,250</td><td>1,250</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>1,215</td><td>1,896</td><td>1,812</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数の制限を行うことに併せ、防災研修会の回数を増やし、地域における防災リーダーの育成を図った。 ・水害対応において、最も重要視される気象情報の理解を深めるため、気象防災アドバイザーによる研修会を実施した。 ・市内在住者を対象に「防災士養成講座」を開講し、防災士資格取得に向けての講座を開講した。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	実績	1,215	1,896	1,812			・出前講座の実施回数を増やし、地域の防災力強化に努める。 ・防災士養成講座を開講し、市内の自主防災組織・自治協力団体（181団体）と同数以上（1名以上）を目標に、受講を促す。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250																		
実績	1,215	1,896	1,812																				
21	水害広域避難訓練の実施	3・やや遅れている	-	指標(単位) 総合水害広域避難訓練の参加者数 【令和元年度：なし】 (人) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>2,000</td><td>2,050</td><td>2,100</td><td>2,150</td><td>2,200</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>0</td><td>896</td><td>1,080</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、市民の参加人数を制限していたが、感染症の位置付けが変更されたことにより、段階的に参加人員を増やし、またマニュアルによる座学中心の訓練を実施した。その結果、令和4年度より参加者数は増加したものの、目標値の5割程度となった。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	2,000	2,050	2,100	2,150	2,200	実績	0	896	1,080			・大型台風接近上陸を想定し、広域避難対象地域、地区の住民の方の広域避難及び水害時避難場所の開設運営等を総合的に訓練する。 ・加須警察署による交通誘導訓練も実施する。 ・避難場所開設、受付及びび設営、運営等実際に即した訓練を実施する。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	2,000	2,050	2,100	2,150	2,200																		
実績	0	896	1,080																				
22	地域による防犯体制の構築	2・概ね達成	-	指標(単位) 自主防犯組織の組織率 【令和元年度：77】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>82</td><td>87</td><td>91</td><td>96</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>81</td><td>81</td><td>81.6</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年度は新たに1件の自主防犯組織の設立があり、自主防犯組織率は概ね目標を達成した。 ・指標実績値：81.6% （自主防犯組織の設立数 146団体/自治協力団体数 179団体）	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	82	87	91	96	100	実績	81	81	81.6			・地域における防犯活動の活性化を図るため、加須警察署と連携し、講習会を実施する。 ・自主防犯団体の組織及び活動状況を把握するため、定期的に実態調査を行う。 ・自主防犯組織未設立の自治協力団体へ、引き続き、危機管理防災課と連携し設立依頼を行う。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	82	87	91	96	100																		
実績	81	81	81.6																				
23	生活道路整備に関わる積極的な用地提供	1・目標を達成	-	指標(単位) 市民からの積極的な用地提供により整備に着手した路線数 【令和元年度：7】 (箇所) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>9</td><td>6</td><td>6</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・自治協力団体等からの生活道路整備の要望に基づき、用地が必要とされる事業においては、地権者から積極的な用地協力をいただき、整備を進めた。 ・整備路線（6路線） 市道5393号線（川口）、市道6194号線（久下四丁目）、市道5490号線（川口）、市道騎3486号線（根古屋）、市道3399号線（上高柳）、市道大1050号線（砂原）	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	5	5	5	5	5	実績	9	6	6			・引き続き、整備を進める。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	5	5	5	5	5																		
実績	9	6	6																				

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (1) 市民と行政との協働の推進

取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
24	地域の支え合いの 推進	1・ 目標を 達成	-	指標(単位) 災害時要援護者全登録者数に対する避難援助者の登録割合 【令和元年度：41】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>41</td><td>42</td><td>43</td><td>44</td><td>45</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>46</td><td>46</td><td>47</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 引き続き民生委員・児童委員による高齢者世帯訪問時や障害者手帳所持者への災害時要援護者制度の周知を行った結果、目標値を上回ったため本評価とした。なお、登録者の死亡数や施設入所数が新規登録者数を上回ったものと考えられ、登録者数が減少した。 - 令和5年度末 災害時要援護者名簿登録者数 6,883名（174名減） 上記のうち避難支援者の登録がある者 3,244名（60名減） …（）内は、前年度末との比較	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	41	42	43	44	45	実績	46	46	47			・名簿未登録者への働きかけは行っているが、登録の必要性を感じないなどの理由で登録意向がない人が固定化しつつあると考えられる。 ・ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯のうち、災害時の避難に支援が必要な人の避難支援者の登録促進、地域による支援体制の構築の検討を促進する。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	41	42	43	44	45																		
実績	46	46	47																				
25	地域福祉活動の推進	2・ 概ね達成	-	指標(単位) 民生委員・児童委員の年間活動延べ日数 【令和元年度：31,123】 (日) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>33,000</td><td>33,000</td><td>33,000</td><td>33,000</td><td>33,000</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>27,152</td><td>28,384</td><td>30,192</td><td></td><td></td></tr> </table> 備考 ・民生委員・児童委員数（令和6年3月31日時点）243人 ・民生委員・児童委員1人あたりの年間活動延べ日数：約124日 ※30,192日÷243人≒124日 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市や社会福祉協議会と連携し、ひとり暮らし高齢者世帯等への訪問を適切に行った。また、実績値が目標値の91.5%に達したため、本評価とした。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	実績	27,152	28,384	30,192			・民生委員・児童委員の日頃の活動が円滑に行えるよう、関係課からの情報やお知らせを、会議等において積極的に周知し、市と委員の情報共有に努める。 ・民生委員・児童委員の活動が年々増加（難題化）している中で、地域の中で支えが必要な方々に寄り添う活動を支援する。 ・職務に関して必要な知識及び技術を習得するため、研修等への参加を促す。 ・欠員がある地区に対して、候補者の推薦を継続して依頼する。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000																		
実績	27,152	28,384	30,192																				
26	高齢者を支え合う 地域づくり	1・ 目標を 達成	-	指標(単位) 介護予防や生活支援の取組を実施しているブロンズ会議（第2層）の数 【令和元年度：2】 (箇所) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>5</td><td>8</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>10</td><td>16</td><td>16</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・全ての社会福祉協議会支部エリアで第2層ブロンズ会議を設置し、各地域で住民と協議しながら様々な課題に向けた取組を推進したことにより、目標値に達したため。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	5	8	16	16	16	実績	10	16	16			・生活支援コーディネーター及び高齢者相談センターとの連携を一層推進する。 ・既存の地域ブロンズ会議の運営状況を確認し、意見交換及び情報提供を行う。 ・住民が主体的に「やりたい」と思うような情報を整理し、啓発を行う。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	5	8	16	16	16																		
実績	10	16	16																				

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (1) 市民と行政との協働の推進

取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
27	健康づくりの推進	2・概ね達成	1・目標を達成	指標(単位) 市町村がん検診事業の評価結果県内市町村ランキング (位)	・集団検診申込時に複数受診を勧めた。 ・受診再勧奨通知の対象者を拡大した。 ・かかりつけ医からの受診勧奨を行った。 ・かかりつけ医からのちらしを活用した受診勧奨を実施する。 ・受診券の送付封筒を大きく見やすい仕様に変更する。 ・引き続きAIによる対象者の選定、対象者に合わせた個別の受診勧奨や電話による受診勧奨を実施する。 ・広報やホームページを利用した勧奨や、医療機関と連携した受診勧奨を継続して実施する。 ・特定健康診査の受診率向上のため、「健康診断受診率向上特別対策P.T」による受診率向上に向けた全庁的な取組を実施する。	
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
				目標 10 10 10 10		
				実績 22 8 2		
			3・やや遅れている	指標(単位) 国保健診(特定健診)受診率 【令和元年度：41】 (%)		
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
				目標 50 55 60 60		
				実績 35.7 41.4 38.2(暫定値)		
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】			
			・市町村がん検診事業評価結果として、令和5年度国民健康保険給付費等交付金「保健事業の評価基準」に基づく評価結果において、県内2位となったため、目標を達成した。 ・4月下旬に受診券を個別送付した。 ・図書館の貸し出しレシートへの掲載や関連図書の展示、モニターへの掲示を実施した。 ・医療機関へのポスター掲示やチラシの配布を実施した。 ・AIによる対象者選定、対象者に合わせた個別の受診勧奨、電話による受診勧奨を実施した。 ・上記の取組を実施した結果、暫定値であるが、県内63市町村中40位の受診率であった。令和4年度より向上したものの、目標値の8割以下であるため、やや遅れている状況である。			
28	ごみの資源化・減量化の推進	3・やや遅れている	2・概ね達成	指標(単位) ごみの資源化率 【令和元年度：37】 (%)	・リサイクル率が上昇している自治体の取り組みを調査し、リサイクル率向上のための新たな手法の導入を検討する。 ・イベントや研修会、環境学習等において啓発活動を行い、ごみの減量化・資源化の意識の向上を図る。 ・ごみの選別強化を引き続き行う。 ・飲食店や食品小売店での食品ロスを削減する「食べきりかそ」協力店の充実を図る。 ・市民の方に、マイボトル及びマイバッグを利用してもらう意識の醸成のため、市刊行物に、マイボトルキャッチフレーズ・ロゴマークを印刷し、配布していく。	
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
				目標 40 40 40 40		
				実績 37 37.7 37.6		
			3・やや遅れている	指標(単位) 一人一日当たりのごみの排出量 【令和元年度：966】 (g)		
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
				目標 829 822 815 808		
				実績 984 981 949		
			3・やや遅れている	指標(単位) プラスチック類・ゴム製品ごみ排出量 【令和元年度：2,483】 (t)		
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
目標 2,430 2,420 2,410 2,400						
実績 2,546 2,467 2,417						
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
・広報や周知、啓発により、ごみの分別に加え、ごみの減量化及び資源化の意識が順調に浸透しつつあり、リサイクル率も人口10万人以上の自治体において、全国第5位(県内1位)と成果が出ているものの、本市が目指す目標とは乖離が生じているため。 ・前年度と比較して減量となり、プラスチックごみの排出が抑制されつつあるものの、目標に至らなかったため。						

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																																				
29	周辺環境の美化活動	3・やや遅れている	2・概ね達成	指標(単位) 環境美化活動サポート団体登録数 【令和元年度：37】 (団体) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>42</td><td>42</td><td>42</td><td>42</td><td>42</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>39</td><td>38</td><td>38</td><td></td><td></td></tr> </table> 指標(単位) 一斉清掃への参加者数 【令和元年度：21,571】 (人) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>35,400</td><td>35,400</td><td>35,500</td><td>35,500</td><td>35,600</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>5,086</td><td>11,361</td><td>20,918</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 登録団体の活動支援を行うとともに、広報紙やホームページにおいて制度の周知を図ったことにより、登録団体数は目標値の9割となっている。なお、各団体において継続的な美化活動が行われたことにより、環境美化の向上が図られ、快適な環境づくりが推進されている。 - 目標には届かなかったものの、各地域の一斉清掃については、計画した12回のうち、荒天中止となった渡良瀬遊水地クリーンを除く11回を実施できた。また、参加者数もコロナ禍以前に戻りつつある。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	42	42	42	42	42	実績	39	38	38			年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	35,400	35,400	35,500	35,500	35,600	実績	5,086	11,361	20,918			- 引き続き広報紙やホームページを活用し、制度の周知、環境意識の啓発を行い、登録団体及び参加者数の増加を図る。 - 引き続き、自治協力団体との協働を図りながら、事業者、学校、その他団体と連携し、引き続き、参加を呼びかけていく。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																				
目標	42	42	42	42	42																																				
実績	39	38	38																																						
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																				
目標	35,400	35,400	35,500	35,500	35,600																																				
実績	5,086	11,361	20,918																																						
30	合併処理浄化槽の普及促進	3・やや遅れている	-	指標(単位) 浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽普及率 【令和元年度：49】 (%) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>60</td><td>66</td><td>72</td><td>78</td><td>84.5</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>52</td><td>51.5</td><td>52.7</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 広報紙やホームページ、戸別訪問により合併浄化槽への転換啓発や、補助金制度の周知、適正な維持管理の啓発を行ったが、普及率が目標値に届かなかったため。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	60	66	72	78	84.5	実績	52	51.5	52.7			引き続き、単独浄化槽及び汲み取り便槽からの転換補助制度について広報紙やホームページ等を活用し、周知していく。																		
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																				
目標	60	66	72	78	84.5																																				
実績	52	51.5	52.7																																						
31	支え合いによる子育ての推進	3・やや遅れている	3・やや遅れている	指標(単位) ファミリーサポート事業年間利用件数 【令和元年度：4,962】 (件) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>5,500</td><td>5,500</td><td>5,500</td><td>5,500</td><td>5,500</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>4,358</td><td>4,106</td><td>3,937</td><td></td><td></td></tr> </table> 指標(単位) 子育てサロン利用者数 【令和元年度：31,740】 (人) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>39,500</td><td>39,500</td><td>39,500</td><td>39,500</td><td>39,500</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>17,042</td><td>22,295</td><td>28,871</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - ファミリーサポートセンター事業は、民間学童の送迎体制が整備され、利用者数は減少傾向にある。また、協力会員数が伸び悩んでいるが、コーディネーターが現状の協力会員で賄えるよう調整している。 - 子育てサロン事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動しているサロンの数が13から11へ減少したが、育ちに不安があるこどもやハンディキャップのあるこどもを持つ保護者を対象としたサロンが新たに発足したため、現在は12のサロンを行っている。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	実績	4,358	4,106	3,937			年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	39,500	39,500	39,500	39,500	39,500	実績	17,042	22,295	28,871			- ファミリーサポートセンター事業は、会員の高齢化に伴い、協力できる会員数が減少していくため、協力会員養成講座を開催及び募集を行い、新規会員の増加に努める。 - 子育てサロン事業は、サロンの休止及び開始を整理し、利用者に周知を図り、利用を促進する。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																				
目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500																																				
実績	4,358	4,106	3,937																																						
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																				
目標	39,500	39,500	39,500	39,500	39,500																																				
実績	17,042	22,295	28,871																																						

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進
 取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																																																
32	ちょこっとおたすけ絆サポート事業の推進	2・概ね達成	3・やや遅れている	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">サービスの年間活動時間 【令和元年度：3,772】 (件)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>4,000</td><td>4,000</td><td>4,000</td><td>4,000</td><td>4,000</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>2,556</td><td>2,843</td><td>2,981</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">サポーター登録 【令和元年度：86】 (人)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>90</td><td>95</td><td>100</td><td>105</td><td>110</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>91</td><td>111</td><td>120</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・サービス年間活動時間は昨年度よりも多くなったが、目標値を達成することができなかったものの、加須市商工会や関係課と連携し、事業のPRを行い、サポーター登録数は目標を達成したため、本評価とした。	指標(単位)	サービスの年間活動時間 【令和元年度：3,772】 (件)					年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	実績	2,556	2,843	2,981			指標(単位)	サポーター登録 【令和元年度：86】 (人)					年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	90	95	100	105	110	実績	91	111	120			・引き続き、加須市商工会や関係各課と連携しながら絆サポート事業の周知を図る。
指標(単位)	サービスの年間活動時間 【令和元年度：3,772】 (件)																																																				
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																																
目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000																																																
実績	2,556	2,843	2,981																																																		
指標(単位)	サポーター登録 【令和元年度：86】 (人)																																																				
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																																
目標	90	95	100	105	110																																																
実績	91	111	120																																																		
33	学校いきいきステーション事業の実施	3・やや遅れている	-	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">公立幼稚園、小・中学校応援団ボランティア登録数 【令和元年度：4,254】 (人)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>4,300</td><td>4,300</td><td>4,300</td><td>4,300</td><td>4,300</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>3,888</td><td>3,410</td><td>2,917</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・学校行事や日頃の授業のサポート、日常の登下校の見守りなど、学校と連携を図りながら活動を実施した。しかし、近年、学校応援団の人数は、高齢化に伴い減少傾向にあることが課題であり、目標値の7割未満となった。	指標(単位)	公立幼稚園、小・中学校応援団ボランティア登録数 【令和元年度：4,254】 (人)					年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	実績	3,888	3,410	2,917			・子ども110番の家の委託数の増加を図るとともに、学校応援団への新規加入者を増やし、活動をより充実させていく。																								
指標(単位)	公立幼稚園、小・中学校応援団ボランティア登録数 【令和元年度：4,254】 (人)																																																				
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																																
目標	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300																																																
実績	3,888	3,410	2,917																																																		
34	経験などを生かした地域貢献	3・やや遅れている	-	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">市民講師登録者数 【令和元年度：238】 (人)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>260</td><td>270</td><td>280</td><td>290</td><td>300</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>236</td><td>212</td><td>217</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年度は、5人の市民講師の登録があった。また、コミュニティセンター講座や市民学習カレッジセミナーにおいて活用した。	指標(単位)	市民講師登録者数 【令和元年度：238】 (人)					年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	260	270	280	290	300	実績	236	212	217			・コミュニティセンターや各文化・学習センター等に市民講師活用の働きかけを行う。 ・市民講師の活用を進めるために、市ホームページの充実や広報の発信を継続していく。 ・シニア世代が有する豊かな知識や経験を、市民講師となって地域の皆さんに伝えていただくことで、シニア世代の地域デビューを支援する。																								
指標(単位)	市民講師登録者数 【令和元年度：238】 (人)																																																				
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																																
目標	260	270	280	290	300																																																
実績	236	212	217																																																		

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (1) 市民と行政との協働の推進

取組項目群 ② 自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
35	まちづくり市民会 議の推進	4・大 幅に 遅れ てい る	-	指標(単位) まちづくり市民会議等への参加者数 【令和元年度：0】 (人) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>240</td><td>42</td><td>96</td><td>30</td><td>35</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>0</td><td>28</td><td>28</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・まちづくり市民会議の運営方法を見直し、令和4年11月から「かそのイトコ見つけ隊」の活動を開始したが、参加者が目標に満たなかったため。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	240	42	96	30	35	実績	0	28	28			・「かそのイトコ見つけ隊」の活動を積極的に支援し、活動をサポートする。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	240	42	96	30	35																		
実績	0	28	28																				
36	ボランティア養成 講座の開催	1・目 標を 達成	-	指標(単位) ボランティア講座の受講率 【令和元年度：80】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>76</td><td>75</td><td>90</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・認知症患者数増加の現状に対応するため、市民学習カレッジセミナーにおいて、いざいき健康長寿課と共催で「介護予防サポーター養成講座」を開催した。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	80	80	80	80	80	実績	76	75	90			・多様なボランティア養成講座の拡充のため、関係課や社会福祉協議会との連携を図る。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	80	80	80	80	80																		
実績	76	75	90																				
37	市民活動への参加 促進	2・概 ね達 成	-	指標(単位) 市民活動ステーションの年間利用者数 【令和元年度：4,888】 (人) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>5,050</td><td>5,100</td><td>5,150</td><td>5,200</td><td>5,250</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>3,234</td><td>5,042</td><td>5,142</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市民活動ステーションは、市民活動フェアの実施など活動する団体が昨年より増加し、実績値が目標値の99.8%に達したため、本評価とした。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	5,050	5,100	5,150	5,200	5,250	実績	3,234	5,042	5,142			・多様なボランティア養成講座の拡充のため、関係課や社会福祉協議会との連携を図る。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	5,050	5,100	5,150	5,200	5,250																		
実績	3,234	5,042	5,142																				
38	地域活動への参加	3・や や遅 れて いる	-	指標(単位) まちづくり市民会議等に参加した職員数 【令和元年度：0】 (人) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>60</td><td>62</td><td>65</td><td>67</td><td>70</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>0</td><td>40</td><td>45</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・職員の地域活動への積極的な参加を促すため、令和5年10月に協働によるまちづくり推進員を対象とした研修会を開催するなどしたが、参加者数が目標値に満たなかったため。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	60	62	65	67	70	実績	0	40	45			・今後も研修会を実施するとともに、「かそのイトコ見つけ隊」とのコラボレーションなど地域活動の積極的な参加を促進する。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	60	62	65	67	70																		
実績	0	40	45																				

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働
 施策 (1) 市民と行政との協働の推進
 取組項目群 ③ パートナーシップの構築

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
39	自治協力団体との 連携	1・ 目標を達成	-	指標(単位)	自治協力団体要望、連絡協議会及び役員会などの開催回数【令和元年度：25】					(回)	・自治協力団体への加入率低下を防ぐため、各自治協力団体との連携を図りながら、新たな加入促進の取組を検討する。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	25	25	25	25	25		
				実績	25	26	25				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・自治協力団体連絡協議会や自治協力団体連合会役員会等の会議、また、自治協力団体要望受付等を実施し、自治協力団体と市における連絡調整や情報共有を細やかに実施し、目標を達成した。							
40	大学、高校、企業等との連携	2・ 概ね達成	-	指標(単位)	大学、高校、企業等との連携事業数【令和元年度：31】					(事業)	・大学、高校との連携実施について推進するとともに、包括連携協定を締結している企業との連携事業実施に向けて関係課に情報提供をする。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	31	31	31	31	35		
				実績	21	24	25				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・幅広い分野にわたって連携事業を計画した結果、大学・学校・企業等との連携を推進ができ、実績値が目標値の8割に達したため、本評価とした。							

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (2) 行政情報の公開

取組項目群 ① 市長の仕事の公表

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取 組 項 目	評 価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
41	市長交際費の公開	1・ 目標を達成	-	指標(単位)	公表回数 【令和元年度：12】 (回)						・引き続き、市長交際費の支出内容を市ホームページで公開していく。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	12	12	12	12	12		
				実績	12	12	12				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・毎月10日までに前月分の市長交際費の支出内容を市ホームページで公開した。 ・市長交際費の支出内容を市ホームページで、毎月の期日までに公開した。							
42	市長の行動日誌の公開	1・ 目標を達成	-	指標(単位)	公表回数 【令和元年度：12】 (回)						・引き続き、市長の行動日誌を市ホームページで公開していく。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	12	12	12	12	12		
				実績	12	19	24				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・毎月1日から15日分は20日までに、16日から月末分は10日までに市長の行動日誌を市ホームページで公開した。 ・市長の行動日誌を市ホームページで、概ね毎月の期日までに公開した。							

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (2) 行政情報の公開

取組項目群 ② 市政の進捗状況の公表

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
43	総合振興計画の進 捗状況の公表	1・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位) 公表回数 【令和元年度：2】 (回)	・総合振興計画に位置付 けた取組が市民の取組・ 活動につながるよう、引 き続き公表に努める。
			-	年度 3年度 (決算) 4年度 5年度 6年度 7年度 (目標年)	
			-	目標 2 2 2 2 2	
			-	実績 2 2 2	
			-	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内の公共的団体等の代表で構成される「総合振興計画推進懇話会」におい て、総合振興計画前期基本計画の実施状況について進捗状況を報告した上で、広 報紙、市ホームページに掲載した。	
44	市長公約の進捗状 況の公表	2・ 概 ね 達 成	-	指標(単位) 公表実施の有無【令和元年度：1】 (回)	・必要に応じて適宜適切 に公表する。
			-	年度 3年度 (決算) 4年度 5年度 6年度 7年度 (目標年)	
			-	目標 1 実施 実施 実施 実施	
			-	実績 1 実施 実施	
			-	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市長が適宜お知らせした。	

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (2) 行政情報の公開

取組項目群 ③ 財政事情の公表

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
45	予算、決算などの わかりやすい公表	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	予算・決算に係るホームページの年間閲覧件数 【令和元年度：7,144】						・引き続き、市の予算、 決算をはじめ市の財政状 況等について、広報紙へ の掲載、市ホームページ で公開する。
			-	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
			目標	7,150	7,175	7,200	7,225	7,250		
			実績	11,189	8,543	13,313				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・補正予算や財務諸表の情報などは、適宜広報紙及び市ホームページ上で公開した。令和2年度から、補正予算案について議会に提出した時点で市ホームページに掲載している。 コロナ対策関連補正予算に関して、水道基本料金の免除等、市民の関心が高い支援を実施したことから、アクセス数が伸びたと思われる。 【主な公表の媒体等】 ・R5年度当初予算　広報かぞ4月号、市ホームページ ・R5年度補正予算（6月、9月、12月、2月） 広報かぞ8月号、11月号、1月号、4月号、市ホームページ ・R5年度上半期財政事情 広報かぞ12月号 ・R4年度の財政事情 広報かぞ6月号 ・R4年度決算 広報かぞ11月号、市ホームページ 新型コロナウイルス感染症に係る対応についてまとめた行政報告書別冊を作成 ・R4年度財務諸表 広報かぞ4月号、市ホームページ							

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (2) 行政情報の公開

取組項目群 ④ 会議の公開の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
46	審議会などの公開 の推進	2・ 概 ね 達 成	-	指標(単位) 開催案内の事前公開実施率 【令和元年度：98】 (%)	・引き続き、開催案内の 事前公開が徹底されるよ う働きかけ、実施率を維 持向上する。
			-	年度 3年度 (決算) 4年度 5年度 6年度 7年度 (目標年)	
			-	目標 98 98 100 100 100	
			-	実績 98.2 97.5 93.0	
			-	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・実績値が目標値の9割に達したため、本評価とした。 ・実施率：93.0%（会議開催日の7日前までに開催案内を公開した件数281件/ 書面審議を除いた会議開催件数302件）	
47	議事録などの公表 の推進	2・ 概 ね 達 成	-	指標(単位) 会議終了後20日以内に議事録を公表した実施率 【令和元年度：61】 (%)	・引き続き、会議録が速 やかに公表されるよう働 きかけ、実施率を維持向 上する。
			-	年度 3年度 (決算) 4年度 5年度 6年度 7年度 (目標年)	
			-	目標 95 95 95 95 95	
			-	実績 98.7 97.2 89.1	
			-	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・実績値が目標値の9割に達したため、本評価とした。 ・実施率：89.1%（会議終了後20日以内に会議録を公表した件数278件/会議 開催件数312件）	

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ① 協働推進プロジェクトの推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
48	家族・地域の絆推進運動の展開	4・大幅に遅れている	-	指標(単位) 絆マークを見たことがある市民の割合 【令和元年度：96】 (%) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>91.3</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・平成22年3月の事業開始から10年以上が経過し、その間に新型コロナウイルス感染拡大などもあり、社会の状況が大きく変容してきており、事業の在り方や今後の展開について再検討しており、令和4年度から「絆アンケート」を実施していないことから、実績については把握できないため。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	100	100	100	100	100	実績	91.3	-	-			・絆推進運動の実施方法を再検討する。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	100	100	100	100	100																		
実績	91.3	-	-																				
49	あいさつ運動の推進	4・大幅に遅れている	-	指標(単位) 地域の方にあいさつできる児童生徒の割合 【令和元年度：83】 (%) <table> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>76</td><td>-</td><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・本指標の根拠となる「絆アンケート」が、これまでの事業の検証と今後の在り方を見直すとともに、新たな事業展開の手法等を検討するために、令和4年度からは実施していないことから、実績については把握できないため。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	90	90	90	90	90	実績	76	-	-			・駅での街頭キャンペーンについては、コロナ禍が明けて3年ぶりに実施することができた。また、各学校においても、引き続き工夫してあいさつ運動を展開してもらう。 ・絆推進運動の見直しを踏まえ、事業の指標の見直しが必要である。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	90	90	90	90	90																		
実績	76	-	-																				

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ② 地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																																																
50	加須市民の日の充実	2・概ね達成	3・やや遅れている	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">「市民の取組」協賛事業への参加団体数 【令和元年度：17】 (回)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>22</td><td>23</td><td>17</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">市民の日記念事業への参加者数 【令和元年度：4,644】 (人)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>25,000</td><td>25,000</td><td>25,000</td><td>25,000</td><td>25,000</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>19,915</td><td>33,442</td><td>32,626</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 市民の日記念式典を開催し、市政に功労のあった方へ感謝状を贈呈した。また、公共施設等無料開放、協賛事業の実施や「私の323」を募集したことにより、参加者数の目標を達成することができた。	指標(単位)	「市民の取組」協賛事業への参加団体数 【令和元年度：17】 (回)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	30	30	30	30	30	実績	22	23	17			指標(単位)	市民の日記念事業への参加者数 【令和元年度：4,644】 (人)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	実績	19,915	33,442	32,626			市民の日記念イベント及び協賛事業においては、関係課と協力して更に充実するよう努める。また、市民団体等が行う協賛事業が拡充できるような関係団体に協力を求めていく。
指標(単位)	「市民の取組」協賛事業への参加団体数 【令和元年度：17】 (回)																																																				
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																
目標	30	30	30	30	30																																																
実績	22	23	17																																																		
指標(単位)	市民の日記念事業への参加者数 【令和元年度：4,644】 (人)																																																				
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																
目標	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000																																																
実績	19,915	33,442	32,626																																																		
51	市の花・市の木の普及	1・目標を達成	1・目標を達成	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">市の花コスモスの栽培面積 【令和元年度：14,118】 (㎡)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>12,500</td><td>12,500</td><td>12,500</td><td>12,500</td><td>12,500</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>10,675</td><td>10,161</td><td>14,798</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">市の木サクラの植栽本数 【令和元年度：25】 (本)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 市の花コスモスの栽培は、新規取組として、本庁舎及び各総合支所で小袋に入れたコスモスの種を来庁者に配布し、実績値が目標値を達した。 - 市内各所及び多くの公共施設でコスモスが咲き、街並みに彩りを加え、市民に親しんでいただいた。また、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整の推進を図られた。 - 市の木サクラの植栽は、市の公共施設にボランティア団体と協働により、サクラの植樹を行うことにより、公園愛護の市民意識が高揚し、公園利用の促進を図られた。 (ボランティア団体名：南町四区町内会 植樹場所：松ぼっくり遊園地)	指標(単位)	市の花コスモスの栽培面積 【令和元年度：14,118】 (㎡)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	実績	10,675	10,161	14,798			指標(単位)	市の木サクラの植栽本数 【令和元年度：25】 (本)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	2	2	2	2	2	実績	0	2	2			- 市の花コスモスについては、小袋に入れた種を、本庁舎総合案内及び各総合支所地域振興課窓口等で配布する。また、各自治協力団体や幼稚園、小・中学校で栽培してもらえるように働きかける。希望する自治協力団体や公共施設等へ種を配布し、市内各所に、より多くのコスモスが咲くよう努めていく。農業振興課等と連携を図り、栽培面積の拡大を推進する。 - 市の木サクラの植樹を促進するため、公園サポーター事業と連携し、市民との協働による公園の緑化対策及び維持管理の促進を図っていく。
指標(単位)	市の花コスモスの栽培面積 【令和元年度：14,118】 (㎡)																																																				
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																
目標	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500																																																
実績	10,675	10,161	14,798																																																		
指標(単位)	市の木サクラの植栽本数 【令和元年度：25】 (本)																																																				
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																
目標	2	2	2	2	2																																																
実績	0	2	2																																																		
52	「うどん」と「こいのぼり」によるまちおこし	2・概ね達成	-	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">うどんとこいのぼりを活用した取組数 【令和元年度：68】 (件)</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>70</td><td>75</td><td>80</td><td>85</td><td>90</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>60</td><td>77</td><td>78</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 新たに議場こいのぼりコンサートを開催するなどし、実績値が前年度を上回り、目標値の97.5%に達したため、本評価とした。 - うどんに関する取組：28件 - こいのぼりに関する取組：50件	指標(単位)	うどんとこいのぼりを活用した取組数 【令和元年度：68】 (件)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	70	75	80	85	90	実績	60	77	78			引き続き、各課と連携しながら取組数を増やすことにより、2大観光資源であるうどんとこいのぼりのPRに努めていく。																								
指標(単位)	うどんとこいのぼりを活用した取組数 【令和元年度：68】 (件)																																																				
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																																																
目標	70	75	80	85	90																																																
実績	60	77	78																																																		

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ② 地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等																		
53	商店街や地域商店の賑わいづくりの支援	3・やや遅れている	-	指標(単位) 商店街にぎわい創出イベント集客数 【令和元年度：35,350】 (人) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>36,000</td><td>36,500</td><td>37,000</td><td>37,500</td><td>38,000</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>1,850</td><td>9,888</td><td>22,348</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須市商工会や中心市街地スタッフ会議、商店街等が賑わい創出イベントを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響等による中止により目標値を達成することができなかったため、本評価とした。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	36,000	36,500	37,000	37,500	38,000	実績	1,850	9,888	22,348			・引き続き、加須市商工会や商店街等が実施する賑わい創出イベントを支援し、地域商業の活性化を図る。また、各イベントについて加須市ホームページやSNSを活用して広報を行い、集客を図る。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																		
目標	36,000	36,500	37,000	37,500	38,000																		
実績	1,850	9,888	22,348																				
54	市民まつりなどの支援	2・概ね達成	-	指標(単位) 市民まつり参加申込団体数 【令和元年度：276】 (団体) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>290</td><td>290</td><td>290</td><td>290</td><td>290</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>0</td><td>215</td><td>274</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年度はコロナ禍以前の通常規模での開催となったことで、参加団体数は回復基調にあり、実績値が目標値の9割に達したため。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	290	290	290	290	290	実績	0	215	274			・参加団体や運営方法等に関する課題を踏まえ、市民まつりの在り方について検討していく。その上で、市民まつりを地域交流の場として幅広い世代に参加してもらい、地域コミュニティの醸成を図り、ふるさとづくりを推進する。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																		
目標	290	290	290	290	290																		
実績	0	215	274																				
55	郷土かるた大会の充実	4・大幅に遅れている	-	指標(単位) 加須市郷土かるた大会の参加人数 【令和元年度：543】 (人) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>520</td><td>520</td><td>520</td><td>520</td><td>520</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>0</td><td>0</td><td>150</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・コロナ禍以降、大会運営方法を大幅に見直しをし、参加者へ大会の楽しさを浸透させていくため、再始動を開始した。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	520	520	520	520	520	実績	0	0	150			・大会開催方法を見直しを図る。 ・本来の目的を再確認し、加須市郷土かるたの有効活用方法を各小学校と連携を図る。 ・大会運営方法の見直しを踏まえ、事業の指標の見直しが必要である。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																		
目標	520	520	520	520	520																		
実績	0	0	150																				

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ③ 家庭・地域活動への参加促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
56	自治協力団体加入 促進・組織活性化 の支援	3・ やや 遅れ てい る	-	指標(単位)	自治協力団体加入率 【令和元年度：80】					(%)
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	80.2	80.3	80.4	80.5	80.6	
				実績	78.3	77.5	75.8			
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
・加入率は年々減少してきているものの、電子申請による自治協力団体加入の取次などを実施することで、加入率75%以上を維持しているが、北川辺地域では40.4%と極端に低いため、全体としては「やや遅れている」と評価した。										
・年々加入率が減少しているため、自治協力団体との連携により、加入促進を行う必要がある。										
57	生涯学習機会の提供	1・ 目標 を達 成	-	指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 【令和元年度：69】					(%)
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	80	80	80	80	80	
				実績	83	81	83			
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】						
・生涯学習の機会の提供を促進するため、市民ボランティア（市民企画委員「アシストかぞ」と）と協働しながら、生涯学習課主催又は他課との共催として65セミナーを実施した。										
・市民企画委員「アシストかぞ」との協働によりバラエティ豊かなセミナーを実施（企画・運営）するだけでなく、市民のニーズに合ったセミナーが実施できるよう情報収集を行うことで、更なる講座の質の向上を図っていく。										

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (3) 絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群 ④ 各種団体などの主体的運営と参画

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																								
58	ボランティアの育成、NPO・ボランティア活動の拡大	2・概ね達成	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">地域市民活動団体数 【令和元年度：79】 (団体)</th></tr> <tr> <th>年度</th><th>3年度 (決算)</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>6年度</th><th>7年度 (目標年)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td><td>78</td><td>80</td><td>82</td><td>84</td><td>86</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>80</td><td>79</td><td>80</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市民活動団体の成長に合わせた助成を実施した。（令和5年度4団体） ・市民活動ステーションの協働運営により団体への支援を行った。 ・地域市民活動団体が令和4年度から1団体増えて80団体となり、目標値の9割以上に達していることから、概ね達成とした。	指標(単位)	地域市民活動団体数 【令和元年度：79】 (団体)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	78	80	82	84	86	実績	80	79	80			・引き続き市民活動団体への助成や市民活動ステーションを通じた支援を実施し、活発な地域活動の展開を図っていく。
指標(単位)	地域市民活動団体数 【令和元年度：79】 (団体)																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	78	80	82	84	86																								
実績	80	79	80																										
59	事務執行体制の自立	3・やや遅れている	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">市職員が会計事務に携わっている団体数 【令和元年度：86】 (団体)</th></tr> <tr> <th>年度</th><th>3年度 (決算)</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>6年度</th><th>7年度 (目標年)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td><td>85</td><td>80</td><td>75</td><td>70</td><td>65</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>89</td><td>91</td><td>78</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・団体の自主運営を促進するとともに、職員が団体の会計事務等に関与せざるを得ない場合には、所管課による団体会計事務の徹底や所管課以外の課による関係書類の確認及び実地査察を行い、事故の未然防止に努めた。 ・会計に市職員が関与している団体数が目標値に達していないため、本評価とした。（市職員が関与している団体数の割合：78団体/総数955団体＝8.2％）。	指標(単位)	市職員が会計事務に携わっている団体数 【令和元年度：86】 (団体)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	85	80	75	70	65	実績	89	91	78			・市職員が会計事務に関与せざるを得ない団体については、事業内容等を検討し、これを整理統合して団体の自立を図るよう助言や指導をする。
指標(単位)	市職員が会計事務に携わっている団体数 【令和元年度：86】 (団体)																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	85	80	75	70	65																								
実績	89	91	78																										

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (4) 自治体間交流の推進

取組項目群 ① 地域社会の発展と振興

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
60	姉妹都市等との住 民交流の促進	2・概ね達成	1・目標を達成	指標(単位)	姉妹都市・友好都市との交流活動実施回数【令和元年度：10】(回)					・市民団体が実施する交流活動を促進するため、姉妹都市・友好都市交流事業補助金について、市ホームページや広報紙等で周知する。 ・姉妹都市・友好都市との交流を深めるとともに、新たな自治体との提携について検討する。
				年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	15	15	15	15	15	
				実績	5	7	15			
			3・やや遅れている	指標(単位)	姉妹都市・友好都市提携自治体数【令和元年度：2】(市町村)					
				年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
				目標	3	3	3	3	3	
				実績	2	2	2			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・姉妹都市・友好都市との交流活動については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、自治体主催のイベントでの交流や市民団体等の交流活動が増え、目標を達成した。 ・さくら市と平成25年1月に姉妹都市、双葉町と平成28年11月に友好都市を提携しており、新たな自治体間交流の実施に向けて検討したが、姉妹都市や友好都市の提携には至らなかった。							

「協働力」の向上

基本目標 3 市民と行政との協働

施策 (5) 国際交流の推進

取組項目群 ① 多文化共生社会の構築

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取 組 項 目	評 価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
61	外国人住民等への 支援の充実	2・ 概 ね 達 成	-	指標(単位)	多言語による情報提供資料数 【令和元年度：59】 (件)					・外国人住民が地域社会の一員として共に暮らし ていくために必要な多言 語による情報提供を関係 課と協力して取り組む。 ・ワンナイトステイ事業 【県事業】について、県 と連携して更に推進す る。 ・外国人住民支援団体等 へのサポート体制の充実 ・多言語情報配信ツール (チラシ等10言語で翻 訳閲覧)の活用する。 ・転入してくる外国人へ 「外国人生活情報セッ ト」を作成し、配布す る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	59	60	61	62	63	
				実績	56	53	84			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・ワンナイトステイ事業の実施 6件 ・日本語教室活動場所の支援等 ・多言語情報配信ツールの活用により、広報紙やごみの分け方出し方のほか、給食だより、子育てガイドブック等、市の様々な情報を10言語で閲覧できるようになったことから、多言語による情報提供資料数が増加した。 しかし、外国人人口は、約3%を超え、更なる外国人への支援が急務であるため、総合的に評価し、本評価とした。							

第3次加須市行政経営プラン 進行管理調書（実施状況報告書）

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (1) 行政手続オンライン化の推進

取組項目群 ① 行政手続などの簡便化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標(単位)	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
62	押印、書面規制の見直し	2・概ね達成	指標(単位) 押印の見直しを行った行政手続の割合 【令和元年度：なし】 (%) 年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標 90 100 100 100 100 実績 81 82 83	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和4年度に引き続き行政手続における押印の必要性について検証した結果、押印の見直しを行った行政手続の割合が83%（対前年1ポイント上昇）に達したため、本評価とした。	・市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、引き続き行政手続等における押印見直しを進める。
63	オンライン化の推進	2・概ね達成	指標(単位) 行政手続等に占めるオンライン利用の割合 【令和元年度：47】 (%) 年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標 50 51 52 54 57 実績 59.8 47.1 51.2 備考 目標値の対象手続 ①図書館の図書貸出予約等 ②公共施設等の利用予約 ③研修・講習・各種イベント等の申込 ④地方税申告手続(eLTAX) ⑤水道使用開始届等 ⑥粗大ごみ収集の申込 ⑦犬の登録申請・死亡届等 ⑧職員採用試験申込 ⑨入札参加資格審査申請等 ⑩入札	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和6年2月及び3月を電子申請推進月間と定め、広報紙等において電子申請サービスの利用を促進した。 ・令和4年度から開始した「公共施設予約管理システム」の利用が浸透してきたことでオンラインによる予約が増加したこと、職員採用試験申込など多くの利用が見込める手続きのオンライン化が実現したことなどにより、利用割合が向上し、実績値が目標値の98.4%に達したため、本評価とした。	・広報紙やホームページ、SNS等多様な媒体を利用して電子申請サービスの更なる利用促進を図る。 ・他市町村のオンライン化の実態を適宜調査し、オンライン手続に移行できるものを検討する。 ・市民の利便性向上や業務効率の効果が高いと考えられる多様な手続を優先してオンライン化する。
64	公共施設インターネット予約の推進	3・やや遅れている	指標(単位) インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合 【令和元年度：なし】 (%) 年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標 導入 50 55 60 65 実績 導入 33 42	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和4年4月1日から「公共施設予約管理システム」の運用を開始したが、実績値が目標値に達していないため。	・加須市公共施設予約管理システム導入についての広報及び操作方法等の周知 ・システム利用率向上に向けた周知及び広報

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (1) 行政手続オンライン化の推進

取組項目群 ② マイナンバー制度の利活用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等																																				
65	マイナンバーカードの普及促進	3・やや遅れている	-	指標(単位) マイナンバーカード交付率 【令和元年度：13.9】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>67</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>35.4</td><td>61.1</td><td>74.3</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市内に事業所を置く企業や団体向けのマイナンバーカード出張申請サポートを実施し、ホームページやチラシの配布など広報を行った。 ・マイナンバーカード受取勧奨通知を送付し、カード未受領者の受領促進を行った。 ・前年度と比較してマイナンバーカードの交付率は増加したが、目標値を下回り、全国の交付率78.7%（令和6年4月1日時点）よりも下回った。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	67	100	100	100	100	実績	35.4	61.1	74.3			・広報紙やHP、窓口封筒への案内掲載、コンビニ交付案内チラシの配布 ・申請困難者への出張申請サポートによるマイナンバーカード取得者数の確保 ・マイナンバーカード交付窓口について、臨時交付窓口（平日予約不要）の設置や、日曜日及び平日夜間の受取枠を増やす等、受け取る環境を充実させ、交付率の増加を図る。																		
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																				
目標	67	100	100	100	100																																				
実績	35.4	61.1	74.3																																						
66	マイナンバーカード・マイナンバーを利用したサービスの拡充	1・目標を達成	1・目標を達成	指標(単位) マイナンバーカードを活用し、サービスを拡充した国及び市独自の事例数【令和元年度：3】 (件) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>5</td><td>5</td><td>7</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td></td><td></td></tr> </table> 指標(単位) 国が示す独自利用事務のうち、市が導入した事例【令和元年度：19】 (件) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>18</td><td>19</td><td>19</td><td>20</td><td>20</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>17</td><td>17</td><td>19</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・マイナンバーカードを活用した事例数については、コンビニ交付、マイナポータル（びったりサービス、被災者支援サービス）の運用、図書館利用者カード化、マイナポイント制度、健康保険証利用、公金受取口座の登録の計7件でマイナンバーカードを活用し、独自利用事務については、19事務について導入しているため、本評価とした。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	5	5	7	7	8	実績	5	6	7			年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	18	19	19	20	20	実績	17	17	19			・マイナンバーカードの普及促進を図る。 ・マイナンバー制度の周知を図る。 ・健康保険証へのマイナンバーカードの活用を推進する。 ・公金受取口座を活用した給付を実施する。 ・独自利用事務を推進し、添付書類の削減により市民の利便性の向上と行政の効率化を図る。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																				
目標	5	5	7	7	8																																				
実績	5	6	7																																						
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																																				
目標	18	19	19	20	20																																				
実績	17	17	19																																						

「市役所力」の向上
 基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上
 施策 (2) 窓口サービスの向上
 取組項目 ① 気持ちの良い窓口づくり

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
67	職員の接遇力の向上	3・ やや遅 れている	1・ 目標を 達成	指標(単位) 窓口対応等実態調査における「職員の対応」についての満足度の割合 【令和元年度：80】 (%) 年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標 80 - 80 - 80 実績 81 83	・窓口対応等実態調査を隔年で実施する。 ・既存マニュアルの内容を確認及び随時更新し、ミスのない業務推進に努める。 ・接遇能力研修については、職員への負担や研修全体の優先度を鑑み、隔年で実施する。
			4・ 大幅に遅 れている	指標(単位) 市長への手紙・メールに寄せられた職員に関する苦情件数 【令和元年度：11】 (件) 年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標 0 0 0 0 0 実績 11 12 8	
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・職員の対応についての市民満足度割合について、目標値を超えているため、本評価とした。 ＊アンケート調査の該当設問における「満足」「やや満足」と回答のあった項目÷有効回答項目数 ・市長への手紙等に寄せられた接遇に関する苦情等に対し、事実確認を踏まえた適正な対応及び、各職員へ苦情等の意見及び対応の周知を行った。 ・窓口対応等実態調査での実績値及び市長への手紙・メールに寄せられた職員に関する苦情件数は前年度実績より減少したため、本評価とした。	
68	職員のあいさつの励行	2・ 概ね達 成	-	指標(単位) あいさつ運動（駅での街頭キャンペーン）に参加した新規採用職員 【令和元年度：100】 (%) 年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標 100 100 100 100 100 実績 0 0 85	・新規採用職員研修（後期）の位置づけで、引き続き、加須市あいさつ運動後期集中強化期間の取組で活動する駅での街頭キャンペーンに参加する。
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須市あいさつ運動後期集中強化期間の取組として活動する駅での街頭キャンペーンに、新規採用職員研修（後期）の位置づけで参加（実施日：令和5年10月16日（柳生駅1人）・20日（加須駅7人）・23日（栗橋駅2人）・27日（花崎駅7人）） ・体調不良による欠席者がいたが、実績値が目標値の8割に達したため、本評価とした。	
69	窓口や待合フロアなどの環境の向上	2・ 概ね達 成	2・ 概ね達 成	指標(単位) 窓口対応等実態調査「待合スペースの過ごしやすさ」満足度割合 【令和元年度：66】 (%) 年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標 75 - 80 - 85 実績 66.4 65.5 指標(単位) 窓口受付マニュアルの整備率 【令和元年度：100】 (%) 年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標 100 100 100 100 100 実績 100 100 100	・来庁者向けナビゲーションシートの継続的な見直しを行う。 ・市民課窓口の混雑緩和における、混雑状況の掲載や窓口の分散化（各総合支所、コンビニ）を図る。 ・窓口DXの実現に向けて「書かない窓口」の導入を検討するとともに、「待たない」「行かない」の「3ない窓口」の取組を推進する。
			1・ 目標を達 成	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・行政情報広告放映モニターを活用した情報発信による待ち時間の有効活用を行った。 ・受付番号自動発券機システムによる窓口一括管理を行い、来庁者の目的に添った案内を実施し、フロア環境の向上が図られた。 ・窓口マニュアルや来庁者向けナビゲーションシートの継続的な見直しを行ったことにより、来庁者に分かりやすい市民サービスを行った。	

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ② わかりやすい窓口づくり

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
70	庁舎総合案内の充実	2・概ね達成	2・概ね達成	指標(単位)	窓口対応等実態調査「案内表示の分かりやすさ」満足度割合【令和元年度：67】						・総合案内用のファイル内容を確認し、適宜必要な情報を更新する。 ・総合受付カウンターの上及びポスター等の情報を最新のものになるよう各課へ更新を促す。 ・各課名案内看板の設置、更新作業を行う。 ・総合案内の運営方法について検討する。 ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となったことから、手指消毒及び検温器のみの対応に緩和する。
				年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	80	-	80	-	80		
				実績	69.7		70.2				
			1・目標を達成	指標(単位)	総合案内来庁者問合せ対応使用案内図の見直し【令和元年度：12】						
				年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
				目標	12	12	12	12	12		
				実績	13	13	13				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・総合案内用ファイルの案内資料、課名看板及び内容表示、組織改正による看板及び案内図の更新した。 ・各フロアの案内図や総合案内の資料改定等の見直しについて、目標に達している。また、新型コロナウイルス等の感染症拡大予防のため、手指消毒及び検温器の設置を継続している。								

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ③ 手続時間の短縮化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等																		
71	窓口受付マニュアルなどの整備・活用	1・目標を達成	-	指標(単位) 窓口受付マニュアルの整備率 【令和元年度：100】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 各課において窓口業務を点検し、全ての窓口受付マニュアルを整備したことから、本評価とした。 - 令和5年度マニュアル作成数：231件	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	100	100	100	100	100	実績	100	100	100			- 既存マニュアルの内容を確認し、随時更新する。 - マニュアルの適正化により、ミスのない業務推進に努める。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																		
目標	100	100	100	100	100																		
実績	100	100	100																				
72	押印、書面規制の見直し【再掲(-62)】	2・概ね達成	-	指標(単位) 押印の見直しを行った行政手続の割合 【令和元年度：なし】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>90</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>81</td><td>82</td><td>83</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 令和4年度に引き続き行政手続における押印の必要性について検証した結果、押印の見直しを行った行政手続の割合が83%（対前年1ポイント上昇）に達したため、本評価とした。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	90	100	100	100	100	実績	81	82	83			市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、引き続き行政手続等における押印見直しを進める。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																		
目標	90	100	100	100	100																		
実績	81	82	83																				
73	オンライン化の推進【再掲(-63)】	2・概ね達成	-	指標(単位) 行政手続等に占めるオンライン利用の割合 【令和元年度：47】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>50</td><td>51</td><td>52</td><td>54</td><td>57</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>59.8</td><td>47.1</td><td>51.2</td><td></td><td></td></tr> </table> 備考 目標値の対象手続 ①図書館の図書貸出予約等 ②公共施設等の利用予約 ③研修・講習・各種イベント等の申込 ④地方税申告手続(eLTAX) ⑤水道使用開始届等 ⑥粗大ごみ収集の申込 ⑦犬の登録申請・死亡届等 ⑧職員採用試験申込 ⑨入札参加資格審査申請等 ⑩入札 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 令和6年2月及び3月を電子申請推進月間と定め、広報紙等において電子申請サービスの利用を促進した。 - 令和4年度から開始した「公共施設予約管理システム」の利用が浸透してきたことでオンラインによる予約が増加したこと、職員採用試験申込など多くの利用が見込める手続きのオンライン化が実現したことなどにより、利用割合が向上し、実績値が目標値の98.4%に達したため、本評価とした。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	50	51	52	54	57	実績	59.8	47.1	51.2			- 広報紙やホームページ、SNS等多様な媒体を利用して電子申請サービスの更なる利用促進を図る。 - 他市町村のオンライン化の実態を適宜調査し、オンライン手続に移行できるものを検討する。 - 市民の利便性向上や業務効率の効果が高いと考えられる多様な手続を優先してオンライン化する。
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																		
目標	50	51	52	54	57																		
実績	59.8	47.1	51.2																				
74	公共施設インターネット予約の推進【再掲(-64)】	3・やや遅れている	-	指標(単位) インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合 【令和元年度：なし】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>導入</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>導入</td><td>33</td><td>42</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 令和4年4月1日から「公共施設予約管理システム」の運用を開始したが、実績値が目標値に達していないため。	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	導入	50	55	60	65	実績	導入	33	42			- 加須市公共施設予約管理システム導入についての広報及び操作方法等の周知 - システム利用率向上に向けた周知及び広報
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																		
目標	導入	50	55	60	65																		
実績	導入	33	42																				

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ④ 市民サービス窓口の拡充

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
75	証明書などの発行 窓口の拡充	1・目標を達成	-	指標(単位)	住民票・印鑑証明書等のコンビニ交付の発行割合 【令和元年度：4】					・案内チラシの窓口配布 や広報紙等への掲載により、コンビニ交付のメリットを周知し、マイナンバーカードの普及とコンビニ交付サービスの利用拡大を引き続き行う。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	8	10	12	14	15	
				実績	9.65	14.08	23.03			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・マイナンバーカードの取得促進（市内における出張申請サポート、ホームページや広報紙に掲載することによる周知等）を実施したことにより、市の交付率が74.3%（前年度61.1%）となり、コンビニ交付サービスの周知や活用が図られた。							

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ⑤ サービス時間の見直し

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取 組 項 目	評 価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
76	開館日等の見直し	1・目標を達成	－	指標(単位)	開館日等（時間）の見直しを行った公共施設の種類又は 窓口等の検討回数 【令和元年度：実施】					（ 回 ） ・市民の利便性を維持しつつ、業務の効率化を図るため、引き続き開館日等の見直しの検討を行う。
				年度	3年度 （決算）	4年度	5年度	6年度	7年度 （目標年）	
				目標	1	1	1	1	1	
				実績	1	1	1			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・加須市職員提案制度に基づき、本庁舎等の開庁時間の短縮が提案され、検討を実施した。							

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (2) 窓口サービスの向上

取組項目群 ⑥ サービスに関する情報の提供

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
77	ガイドブックなどの充実	1・ 目標を達成	-	指標(単位)	ガイドブックの見直し実施率 【令和元年度：100】 (%)					・引き続き、見やすく分かりやすい紙面づくりに努める。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100			
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市民への情報提供の充実を図るため、各課においてガイドブック等の見直し（統合・廃止を含む）を行い、ガイドブック等の発行数74種について改定や見直しが実施されたことから、本評価とした。						
78	メール配信の充実 【再掲(-4)】	3・ やや遅れている	-	指標(単位)	市人口に対する「かぞっとメール」の実登録者の割合 【令和元年度：14】 (%)					・引き続き、市ホームページや広報紙に利用案内を掲載し周知を図る。 ・今後は、防災行政無線やLINEの連携を踏まえ、行政情報配信の充実を図る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	18	20	22	23	25	
				実績	16.1	16.1	14.4			
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・かぞっとメールの周知と利用案内について、市ホームページや広報紙に掲載するとともに、転入者にチラシ配布等を行ったものの、登録者が減少した。						

「市役所力」の向上

基本目標 4 行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施策 (3) 個人情報の保護

取組項目群 ① 情報セキュリティの確保

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
79	個人情報制度の運用	1・ 目標を達成	-	指標(単位) 保有個人情報開示請求に係る平均処理日数（処理日数の合計÷処理件数）【令和元年度：7】（日） <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>6.9</td><td>6.8</td><td>8.8</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・実績値が目標値を上回ったため、本評価とした。 ・指標実績値：8.8日（処理日数の合計 221日/処理件数 25件）	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	10	10	10	10	10	実績	6.9	6.8	8.8			・保有個人情報の開示請求に係る決定を迅速に行えるよう働きかけ、平均処理日数の維持短縮を図る。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	10	10	10	10	10																		
実績	6.9	6.8	8.8																				
80	情報セキュリティポリシーの遵守	2・ 概ね達成	-	指標(単位) セキュリティ研修の受講率 【令和元年度：なし】（％） <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>100</td><td>100</td><td>99.2</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・リモートラーニングによる情報セキュリティ研修を全職員（再任用・会計年度任用等含む）を対象に実施したが、受講率100%には至らなかった。 ・個人情報保護や情報漏えい対策に関する情報セキュリティ対策セミナーを、文書取扱主任を対象に総務課と共同で実施した。 ・情報セキュリティポリシーの遵守について、庁内への通知に加えて、情報化責任者等会議（令和6年2月29日開催）や新規採用職員研修で説明し周知を図った。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	100	100	100	100	100	実績	100	100	99.2			・リモートラーニングによる情報セキュリティ研修を実施し、受講率100%を達成する。 ・リモートラーニングに加えて、集合研修の開催を検討する。 ・引き続き、各課に情報化推進主任及び情報化責任者を配置し、情報セキュリティポリシーの遵守に努める。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	100	100	100	100	100																		
実績	100	100	99.2																				
81	情報システム基盤の安定的な運用	2・ 概ね達成	-	指標(単位) システム稼働率 【令和元年度：なし】（％） <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>99.90</td><td>99.91</td><td>99.93</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・庁内ネットワークの安定稼働を図るため、稼働監視やメンテナンス等の適正な運用管理を行った。 ・住民情報システムへの接続障害が開庁時から約80分間発生し、住民記録や税などの窓口業務が停止した。（【その他】インターネット接続不可：約120分）	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	100	100	100	100	100	実績	99.90	99.91	99.93			・業務継続性や運用管理コストの軽減等のクラウド化によるメリットを勘案し、最適なシステム環境の構築を図る。（クラウドファーストの推進）
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	100	100	100	100	100																		
実績	99.90	99.91	99.93																				

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (1) 計画的な行財政運営

取組項目群 ① スクラップアンドビルドの推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
82	1事業1改善の実 施(加須やぐるま マネジメントサイ クルの推進)	1・ 目 標 を 達 成	-	指標(単位)	改善を行った事務事業の割合 【令和元年度：100】 (%)					・事業管理シートを活用 し、事務事業の適正な進 行管理をすることはもと より、事業推進の基礎資 料として活用する。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100			
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・各事業の前年度実績確定時における内容確認や予算編成時の事業管理シートの 更新を通じて、全事業を確認し改善につなげたため、本評価とした。						

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (1) 計画的な行財政運営

取組項目群 ② 収支の均衡

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
83	経常収支比率の改善	3・ やや 遅れ てい る	-	指標(単位) 経常収支比率 【令和元年度：89.3】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>91.8</td><td>91.7</td><td>91.6</td><td>91.5</td><td>91.4</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>87.9</td><td>91.3</td><td>94.6</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 一般的に都市部にあっては75%程度、町村にあっては70%程度の比率が妥当とされている数値で、これより5%超えると弾力性を失いつつあると言われて - 令和5年度は、元金償還額の減に伴う公債費の減少があったが、物価高騰に伴う電気料・賄材料費の増による物件費の増加や障害児通所給付費・障害福祉サービス費等の増による扶助費の増加などにより、経常収支比率の算式の分子である経常一般財源支出が増加した。一方、分母である経常一般財源収入も臨時財政対策債の減に伴い減少した。分母が減となり分子が増となったため、経常収支比率は昨年度より3.3ポイント増加した。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	91.8	91.7	91.6	91.5	91.4	実績	87.9	91.3	94.6			引き続き、人件費などの経常経費の抑制や財源確保に取り組み、経常収支比率の改善を図っていく。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	91.8	91.7	91.6	91.5	91.4																		
実績	87.9	91.3	94.6																				
84	統一的な基準による地方公会計の活用	2・ 概ね 達成	-	指標(単位) 財務書類等の作成・活用 【令和元年度：作成・活用】・ <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>作成活用</td><td>作成活用</td><td>作成活用</td><td>作成活用</td><td>作成活用</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>作成活用</td><td>作成活用</td><td>作成活用</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 固定資産台帳について、管理契約課との調整、連携によりスケジュールどおりに更新した。 - 近隣市及び類似団体の財務諸表の情報把握を行い、比較を行った。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	作成活用	作成活用	作成活用	作成活用	作成活用	実績	作成活用	作成活用	作成活用			施設の統廃合を検討する際には、必要に応じて施設個別の行政コスト計算書などを作成する。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	作成活用	作成活用	作成活用	作成活用	作成活用																		
実績	作成活用	作成活用	作成活用																				
85	戦略的な予算編成の実施	2・ 概ね 達成	-	指標(単位) 行政評価と連動した予算編成の実施 【令和元年度：実施】・ <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 事業管理シートを管理する政策調整課、補助金等の見直しを進める業務改善課との合同によるサマーレビュー、三課ヒアリング、市長査定へと継続して連携を図り、行政評価と連動した予算査定、編成を実施した。 - 当初予算要求において、各事業で前年度一般財源を超えないよう抑制を周知した。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実績	実施	実施	実施			- 物価高騰対応などの緊急的な補正予算編成では、国からの情報を随時収集し、漏れの無いよう予算編成にあたる。 - 当初予算編成では、政策調整課と連携し、特に今後課題となる公共施設の管理費用等については、中長期的な面を考慮しながら、予算編成及び財政運営に取り組む。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	実施	実施	実施	実施	実施																		
実績	実施	実施	実施																				

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施 策 (1) 計画的な行財政運営
 取組項目群 ③ 債務残高の圧縮

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
86	市債の適切な新規発行	1・ 目標を達成	-	指標(単位)	普通会計における市債残高 【令和元年度：329】 (億円)					・地方債借入れのための手法について確認し、必要に応じ県の担当者等と具体的な協議を図る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	330	329	328	327	326	
				実績	312	288	255			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・市債の新規発行を適切に行った。 (臨時財政対策債：116,10千円、緊急浚渫事業債(旧川浚渫工事)：51,400千円、学校教育施設等整備事業債(元和小学校校舎増築工事・監理)：49,100千円 など) ・交付税措置のある事業債を積極的に活用した。 ・普通建設事業費の財源には、市債と基金を積極的に活用した。							

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施 策 (1) 計画的な行財政運営
 取組項目群 ④ 将来への備え

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
87	適正な基金への積立と活用	1・目標を達成	-	指標(単位)	公共施設等再整備基金の積立率（当該年度積立額/前年度取崩額）【令和元年度：44】					・公共施設等の統廃合や経済対策など、今後の財政需要を考慮しながら、各基金への積立、積戻しや、各年度の元利償還額・市債残高を試算等し、財源の確保に当たる。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	100	100	100	100	100	
				実績	262	458	181			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・公共施設等再整備基金の令和4年度の取崩し額は474,627千円、令和5年度積立額は860,065千円となり、実績値が目標値を達した。							

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (2) 効果的な行政運営

取組項目群 ① 財源確保の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
88	市税(国民健康保険税を除く)の収納対策の推進	1・ 目標を達成	-	指標(単位) 市税の収納率 【令和元年度：98】 (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>3年度 (決算)</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>6年度</th><th>7年度 (目標年)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td><td>98.0</td><td>98.1</td><td>98.2</td><td>98.3</td><td>98.4</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>97.8</td><td>98.0</td><td>98.3</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 令和4年12月に導入した預貯金等照会電子化サービス（pipitLINQ）をフルに活用して滞納者の財産調査を徹底し、メリハリのある滞納整理（財産ありの場合は滞納処分、財産なしの場合は徴収緩和措置）を行ったことにより、収納率において目標値を上回る実績となった。（差押件数：632件（前年度比320件増加））	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	98.0	98.1	98.2	98.3	98.4	実績	97.8	98.0	98.3			引き続き財産調査を徹底し、滞納処分、徴収緩和措置を適切に講じる。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	98.0	98.1	98.2	98.3	98.4																		
実績	97.8	98.0	98.3																				
89	料金などの確実な収納	1・ 目標を達成	-	指標(単位) 各種料金などの収納率 【令和元年度：95】 (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>3年度 (決算)</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>6年度</th><th>7年度 (目標年)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td><td>95.3</td><td>95.4</td><td>95.5</td><td>95.6</td><td>95.7</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>95.4</td><td>96.0</td><td>96.1</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 各種料金等収納対策実施要領・年間スケジュールに基づいた収納対策が図られ、収納率向上に努めたことから、目標値を達成することができた。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	95.3	95.4	95.5	95.6	95.7	実績	95.4	96.0	96.1			- 収納対策部会を開催し、各種料金等の納付状況や消滅債権の状況を確認する。 - 年度当初に、収納対策実施要領、年間スケジュールを策定し、計画的に収納対策を実施するとともに、債権管理の適正化に努める。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	95.3	95.4	95.5	95.6	95.7																		
実績	95.4	96.0	96.1																				
90	資産の有効活用等	1・ 目標を達成	-	指標(単位) 未利用市有地（普通財産・土地）の売払い又は利活用決定件数 【令和元年度：2】 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>3年度 (決算)</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>6年度</th><th>7年度 (目標年)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>8</td><td>4</td><td>2</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 公売等により2件の普通財産を売却し、目標を達成した。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	2	2	2	2	2	実績	8	4	2			- 市有財産管理運用委員会を開催し、未利用財産の利活用について区分けを行う。 - 財産の取得・処分検討委員会を開催し、未利用財産の公売に向けて諮問を行う。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	2	2	2	2	2																		
実績	8	4	2																				

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (2) 効果的な行政運営

取組項目群 ① 財源確保の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
91	企業誘致・立地支援などの推進	1・ 目標を達成	-	指標(単位)	市内工業団地等への立地事業所数 【令和元年度：2】 (社)						・引き続き、関係各課と連携を図り、市内における立地可能な適地等の検討・協議・精査を行い、企業誘致を推進する。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	2	2	2	2	2		
				実績	10	4	2				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・関係各課と連携を図り、市内における立地可能な適地等の検討・協議・精査を行った。また、令和5年度は、市内工業団地内に2件（居抜き含む）の立地があったため、本評価とした。							
92	広告収入の確保	3・ やや遅れている	-	指標(単位)	広告媒体の種類 【令和元年度：6】 (種)						・引き続き、民間企業との協働による新たな財源確保や歳出削減策を検討する。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	6	6	7	7	8		
				実績	5	5	5				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年度に広告料収入（市ホームページのバナー広告など）又は無償提供（広告付き受付番号自動発券機システムなど）があったものは5媒体であったため、本評価とした。なお、収入及び削減額の合計は2,661千円であった。							

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (2) 効果的な行政運営

取組項目群 ② 効率的な事務の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
93	AI・RPAの活用	1・ 目標を達成	-	指標(単位) AI・RPAの活用数 【令和元年度：1】 (件) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>4</td><td>6</td><td>8</td><td>12</td><td>16</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>4</td><td>7</td><td>10</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・特定健診勧奨対象者抽出、議事録作成支援、デマンド型乗合タクシー最適配車、がん検診結果入力、口座振替依頼書処理、人事異動に関する自己申告書入力、入札資格審査入力票処理、窓口アンケート結果入力、転入転出者アンケート結果入力及び畜犬業務処理にAI・RPAを活用した。 ・情報化責任者会議を令和6年2月29日に開催し、AI・RPAの活用について周知した。 ・生成AIについて、市民サービスの向上や行政事務の効率化に向けた利用を検討するため、ガイドライン等一定のルールに基づいて試行運用を実施した。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	4	6	8	12	16	実績	4	7	10			・AI技術を実装した新たなシステムやサービスの導入を検討する。 ・AI-OCRとRPAの活用業務を拡充する。 ・継続的なAI・RPA利用促進に関する庁内周知を行う。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	4	6	8	12	16																		
実績	4	7	10																				
94	電子入札の推進	1・ 目標を達成	-	指標(単位) 建設工事等における電子入札導入割合 【令和元年度：100】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年度は277件入札を実施し、全ての案件において電子入札システムでの入札事務を適性に執行した。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	100	100	100	100	100	実績	100	100	100			・引き続き、埼玉県電子入札システムを活用し、適正に入札事務を遂行していく。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	100	100	100	100	100																		
実績	100	100	100																				
95	公共施設インターネット予約の推進 【再掲(-64)】	3・ やや遅れている	-	指標(単位) インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合 【令和元年度：なし】 (%) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>導入</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>導入</td><td>33</td><td>42</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和4年4月1日から「公共施設予約管理システム」の運用を開始したが、実績値が目標値に達していないため。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	導入	50	55	60	65	実績	導入	33	42			・加須市公共施設予約管理システム導入についての広報及び操作方法等の周知 ・システム利用率向上に向けた周知及び広報
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	導入	50	55	60	65																		
実績	導入	33	42																				
96	ペーパーレス化の推進	1・ 目標を達成	-	指標(単位) 紙の印刷等枚数削減 (万枚) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td></td><td></td><td>1,995</td><td>1,895</td><td>1,800</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>2,126</td><td>2,147</td><td>1,945</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・ペーパーレス会議やオンライン会議の促進、複合機のスキャン機能による資料等のデータ化、庁内プリンタ出力枚数の削減依頼に加えて、新たに会議室の庁内無線LANを整備し、会議室に端末を持ち込んでペーパーレスによる会議が実施できるよう取り組んだことで、紙の印刷等枚数を前年度から10%削減し、目標も達成することができた。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標			1,995	1,895	1,800	実績	2,126	2,147	1,945			・引き続き、ペーパーレス会議やオンライン会議の促進を図り、プリンタ出力やコピー枚数の削減等を図る。 ・ペーパーレスの支援ツールや文書管理（電子決裁）システム等の新たな取組を検討し、ペーパーレス化を加速させる。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標			1,995	1,895	1,800																		
実績	2,126	2,147	1,945																				

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (2) 効果的な行政運営

取組項目群 ② 効率的な事務の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析					分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
97	情報システムの最適化	3・やや遅れている	-	指標(単位)	庁内共通システムのクラウド化 【令和元年度：25】 (%)					・クラウド化されていない庁内共通システム（財務会計・グループウェア）について、業務継続性や運用管理コストの軽減等のクラウド化によるメリットを勘案し、最適なシステム環境の構築を図る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	50	75	75	100	100	
				実績	50	50	50			
				備考	庁内共通システム：住民情報、財務会計、グループウェア、ホームページ管理					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・庁内共通システムのうち、住民情報システム、ホームページ管理システムのクラウド化について、令和3年度までに実施した。							
98	事務経費の削減	1・目標を達成	-	指標(単位)	普通会計における物件費の令和元年度比削減累計額 (百万円)					・引き続き、各部課へのヒアリング等により事務事業の評価、見直し等を進め、事務経費の削減に取り組んでいく。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	▲ 30	▲ 60	▲ 90	▲ 120	▲ 150	
				実績	▲ 122	505	▲ 287			
				備考	※令和元年度物件費：6,480百万					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・予算査定時に予算額の削減に努めるとともに、計画的・効率的な予算執行と経費抑制に全庁的に取り組んだ結果、目標を達成した。							

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (2) 効果的な行政運営
 取組項目群 ③ サービスと負担の適正化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																								
99	施設使用料・交付手数料等の見直し	4・大幅に遅れている	-	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">適正な使用料・手数料の設定 【令和元年度：方針の協議】</th></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>方針検討</td><td>方針策定</td><td>周知</td><td>実施</td><td>実施</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>方針検討</td><td>方針検討</td><td>方針検討</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 基本方針及び算定基準（案）について検討は継続して行っているものの、基本方針の作成や、算定基準（案）に基づいた試算等による影響を検討する段階までに至らず、周知に至らなかったことから本評価とした。	指標(単位)	適正な使用料・手数料の設定 【令和元年度：方針の協議】					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	方針検討	方針策定	周知	実施	実施	実績	方針検討	方針検討	方針検討			施設使用料・交付手数料の調査結果等を基に、統一した基本方針を策定する。
指標(単位)	適正な使用料・手数料の設定 【令和元年度：方針の協議】																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	方針検討	方針策定	周知	実施	実施																								
実績	方針検討	方針検討	方針検討																										
100	各種団体補助金等の見直し	4・大幅に遅れている	-	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">適正な各種団体補助金等の交付 【令和元年度：検証】</th></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>検証</td><td>検証</td><td>周知</td><td>実施</td><td>実施</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>検証</td><td>検証</td><td>検証</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 補助金交付団体に対し、統一した対応が必要であり、検証結果によっては市民への影響も大きいため慎重な対応が求められていることから、適切な見直しが必要となる。 - 具体的な方策が見出せず、周知に至らなかったことから本評価とした。	指標(単位)	適正な各種団体補助金等の交付 【令和元年度：検証】					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	検証	検証	周知	実施	実施	実績	検証	検証	検証			段階的な検証を実施するため、加須市補助金適正化検討委員会を中心に各補助金の適正化に向けた検証を実施する。
指標(単位)	適正な各種団体補助金等の交付 【令和元年度：検証】																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	検証	検証	周知	実施	実施																								
実績	検証	検証	検証																										

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ① 働き方改革の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
101	ワーク・ライフ・ バランスの徹底	1・ 目標を 達成	-	指標(単位)	ワーク・ライフ・バランスデーに定時退庁した職員の割合 【令和元年度：97】					(%)	・引き続き、各月のグループウェアへの掲載と、入力確認を行う。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	97	97	97	97	97		
				実績	98.5	98.2	98.9				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・全庁的に実施する年6回のワーク・ライフ・バランスデー及び各課で年6回のワーク・ライフ・バランスデーを設定し、設定日当日は、グループウェア、庁内放送、各所属長から周知した。 ・定時退庁した職員の割合が増加し、職員への制度浸透が図られ、目標を達成した。							
102	時間差勤務制度の 拡充	1・ 目標を 達成	-	指標(単位)	時間差勤務の種類（累計）【令和元年度：0】					(件)	・国及び県の動向を注視しながら制度の拡充を検討する。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	1	1	1	2	2		
				実績	1	1	1				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・19時まで開室している公立放課後児童健全育成室に対応するため、従事する職員に対する時間差勤務（フレックスタイム）を導入し、2体制での勤務としている。 ①8:30～17:15 ②10:30～19:15							
103	効率的な庁内会議 の開催	2・ 概ね 達成	2・ 概ね 達成	指標(単位)	事前に設定した目標時間以内で実施した庁内会議の割合 【令和元年度：86】					(%)	・引き続き、効果的かつ効率的な庁内会議の運営に努めるよう周知徹底を行う。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	90	90	95	95	100		
				実績	78.6	75.0	81.8				
			1・ 目標を 達成	指標(単位)	ガイドラインに基づくチェックリストの達成度が「全てできた」又は「おおむねできた」会議の割合 【令和元年度：100】					(%)	
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
実績	100	83	100								
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・2つの指標のうち、「事前に設定した目標時間以内で実施した庁内会議の割合」の実績値が目標値の8割に達したため、本評価とした。											

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ① 働き方改革の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																								
104	タイムマネジメントの実施	4・大幅に遅れている	-	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">深夜勤務多回数者（四半期で10回以上）を有する課の数（課） 【令和元年度：5】</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>7</td><td>9</td><td>9</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 令和5年4月4日付けで、働き方改革の推進について通知した。 - 深夜勤務多回数者の所属長に対し、結果を通知するとともに、部下職員のマネジメント状況報告書を提出させ、今後の状況を確認した。 - 多回数者を有する課が複数あり、本評価とした。	指標(単位)	深夜勤務多回数者（四半期で10回以上）を有する課の数（課） 【令和元年度：5】					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	0	0	0	0	0	実績	7	9	9			深夜勤務多回数者の所属長に対し、四半期毎に結果を通知するとともに、報告書の提出を求める。また、所属長に対し、必要に応じてヒアリングを行うことでタイムマネジメントへの意識を高める。
指標(単位)	深夜勤務多回数者（四半期で10回以上）を有する課の数（課） 【令和元年度：5】																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	0	0	0	0	0																								
実績	7	9	9																										
105	オンライン会議の活用	1・目標を達成	-	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">オンライン会議等の利用件数 【令和元年度：なし】（件）</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>120</td><td>140</td><td>160</td><td>180</td><td>200</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>590</td><td>509</td><td>1,689</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - オンライン会議に必要な機器貸出、ネットワーク環境等を提供した。 - 各課に設置されているパソコン（LGWAN接続系）において、柔軟にオンライン会議が可能となるよう環境を整備した。 - 新型コロナウイルス感染症対策による接触機会の削減を契機に、オンライン会議の需要が高まり、目標を達成した。	指標(単位)	オンライン会議等の利用件数 【令和元年度：なし】（件）					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	120	140	160	180	200	実績	590	509	1,689			オンライン会議の更なる利活用に加え、安定したネットワークの運用管理が図れるよう、引き続き必要な環境整備等を行う。
指標(単位)	オンライン会議等の利用件数 【令和元年度：なし】（件）																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	120	140	160	180	200																								
実績	590	509	1,689																										
106	AI・RPAの活用 【再掲(-93)】	1・目標を達成	-	<table border="1"> <tr> <td>指標(単位)</td><td colspan="5">AI・RPAの活用数 【令和元年度：1】（件）</td></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>4</td><td>6</td><td>8</td><td>12</td><td>16</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>4</td><td>7</td><td>10</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 - 特定健診勧奨対象者抽出、議事録作成支援、デマンド型乗合タクシー最適配車、がん検診結果入力、口座振替依頼書処理、人事異動に関する自己申告書入力、入札資格審査入力票処理、窓口アンケート結果入力、転入転出者アンケート結果入力及び畜犬業務処理にAI・RPAを活用した。 - 情報化責任者会議を令和6年2月29日に開催し、AI・RPAの活用について周知した。 - 生成AIについて、市民サービスの向上や行政事務の効率化に向けた利用を検討するため、ガイドライン等一定のルールに基づいて試行運用を実施した。	指標(単位)	AI・RPAの活用数 【令和元年度：1】（件）					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	4	6	8	12	16	実績	4	7	10			- AI技術を実装した新たなシステムやサービスの導入を検討する。 - AI-OCRとRPAの活用業務を拡充する。 - 継続的なAI・RPA利用促進に関する庁内周知を行う。
指標(単位)	AI・RPAの活用数 【令和元年度：1】（件）																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	4	6	8	12	16																								
実績	4	7	10																										

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ② 課題意識の醸成

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等																								
107	加須やぐるまマネジメントサイクル(行政評価)を通じた人材育成	1・目標を達成	-	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">行政評価についての職員の理解度 【令和元年度：100】 (%)</th></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新規採用職員研修の中で行政評価の概要を説明したほか、加須やぐるまマネジメントサイクルによる事務事業の目的や目標、課題などを明確にして業務が遂行できるよう、職員に対し行政評価研修を当初予算編成方針説明会（令和5年10月4日）で実施し、目標を達成した。	指標(単位)	行政評価についての職員の理解度 【令和元年度：100】 (%)					年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	100	100	100	100	100	実績	100	100	100			・引き続き行政評価研修会などを通じて、職員一人一人が事業の目的や課題を明確にして業務が遂行できるよう意識付けを行うことで、各事業の効果的かつ効率的な実施につなげていく。
指標(単位)	行政評価についての職員の理解度 【令和元年度：100】 (%)																												
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																								
目標	100	100	100	100	100																								
実績	100	100	100																										
108	1課1改善運動の実施	3・やや遅れている	-	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">全課の事務改善合計件数 【令和元年度：108】 (件)</th></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>108</td><td>109</td><td>110</td><td>111</td><td>112</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>78</td><td>76</td><td>82</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・全50課所室から82件の改善報告があったものの、目標件数に達することができなかったため本評価とした。なお、82件の改善報告のうち13件を優秀賞、1課を最多賞として表彰した。 ・改善報告・改善事例集を作成し、職場環境改善の情報共有及び意識共有に努めた。 ・他課から報告された事務改善事例を自課の事務改善へ取り入れることにより、全庁的に改善効果が高まった。	指標(単位)	全課の事務改善合計件数 【令和元年度：108】 (件)					年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	108	109	110	111	112	実績	78	76	82			・各職員が効果的・効率的な業務遂行を意識し、事務改善に取り組めるよう、職場環境の醸成に努める。 ・事務効率及び市民サービスの向上のため、改善事例における各課の取組状況を確認する。
指標(単位)	全課の事務改善合計件数 【令和元年度：108】 (件)																												
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																								
目標	108	109	110	111	112																								
実績	78	76	82																										
109	「気づき」などの報告制度の推進	1・目標を達成	-	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">事務処理ミスにおける分析・対応率 【令和元年度：100】 (%)</th></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・事務処理のミスをして報告された8件の全ての事例を分析し、的確な対応に努めた結果、事例分析・対応率100%の目標を達成した。	指標(単位)	事務処理ミスにおける分析・対応率 【令和元年度：100】 (%)					年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	100	100	100	100	100	実績	100	100	100			・事務処理ミスの事前対策や情報を発信することで、リスクに対応する危機意識の醸成を図る。
指標(単位)	事務処理ミスにおける分析・対応率 【令和元年度：100】 (%)																												
年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																								
目標	100	100	100	100	100																								
実績	100	100	100																										

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群 ③ 改革・改善意欲の醸成

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等
110	職員提案制度の活用	1・目標を達成	-	指標(単位) 職員提案件数 【令和元年度：52】 (件)	・より多くの職員との意見提案の機会となるよう、制度の周知・活性化を図る。 ・事務効率及び市民サービス向上のため、改善事例における各課の取組状況を確認する。
			-	年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
			-	目標 52 52 52 52	
			-	実績 23 24 53	
			-	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・53件の職員提案があったため、目標を達成した。また、2件を入選とした。 入選：公金クレジットカードの導入 ユニバーサルデザインフォントを活用した名札の作成	
111	自主研究グループの設置・活動の促進	4・大幅に遅れている	-	指標(単位) 調査及び研究費用の一部を助成したグループ数 【令和元年度：0】 (グループ)	・引き続き、自主研究グループ支援制度の周知に併せ、県内他市の状況などの情報を提供していく。 ・研修時に機会を見て周知していく。
			-	年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
			-	目標 1 1 1 1	
			-	実績 0 0 0	
			-	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・自主研究グループ支援制度の周知を行ったが、自主研究グループからの申請請求がなかったため。	

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ④ 目指す職員像の共有化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
112	職員能力開発基本 方針の周知徹底・ 推進	2・概ね 達成	-	指標(単位)	取組項目の達成率 【令和元年度：96】					(%)	・引き続き、加須市人材 育成基本方針で具体化し た取組項目について、推 進を図る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
				実績	96	97	91				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
113	職員行動指針の浸 透・具体化	1・目 標を達 成	-	指標(単位)	共通目標を達成できた職場の割合 【令和元年度：99】					(%)	・引き続き、朝礼時の唱 和と、目標達成のための 具体策の設定を徹底す る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
				実績	99.1	99.1	100				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ⑤ 研修制度の充実

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 この評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
114	体系的・計画的な 研修の推進	2・ 概 ね 達 成	-	指標(単位)	自主研修において受講前に設定した受講目標が達成でき た職員の割合 【令和元年度：82】 (%)						・職員の意識改革と能力 開発を促すため、研修の メニューや内容、対象者 等を見直ししながら、満足 度の高い効果的な研修の 実施に努める。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	85	85	85	85	85		
				実績	81	82	80				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・事前に研修資料を提供し、受講前に目を通してもらうように努めた結果、研修 効果測定が計画値の94%となったため、概ね達成とした。							
115	職場内研修の推進	2・ 概 ね 達 成	-	指標(単位)	新規採用職員サポーター制度に係るアンケートにおける 有効度の割合 【令和元年度：100】 (%)						・引き続き、サポーター ハンドブックを活用しな がら、新規採用職員に対 しOJTを積極的に行 う。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
				実績	98.4	98.2	96.3				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・令和5年4月にサポーターを指名し、新規採用職員、サポーター、所属長で目 標を設定し、サポーターハンドブックを活用しながら、OJTを積極的に実施し た。積極的なOJTの実施により、実績値が目標値の9割に達したため、本評価 とした。							

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ⑥ 職員の専門性の向上

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
116	スペシャリストの 育成	1・目標を達成	-	指標(単位)	専門研修への職員派遣数 【令和元年度：14】 (件)					・引き続き、職員の専門性の向上に取り組み、スペシャリストの育成を図る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	10	10	10	10	10	
				実績	7	9	11			
				備考	目標値における平成29年度～令和元年度の平均：10件 派遣先（自治大学校、市町村アカデミー、国土交通大学校、全国地域リーダー養成塾）					
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・自治大学校等へ計11人を派遣（自治大学校4人、市町村職員中央研修所7人）し、職員の専門性の向上に取り組むことができたため。						
117	資格取得の支援	4・大幅に遅れている	-	指標(単位)	支援した職員数（衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者） 【令和元年度：4】 (人)					・引き続き、職員の専門性の向上に取り組み、資格取得を支援していくとともに、積極的な勧奨を行っていく。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	7	7	7	7	7	
				実績	7	5	3			
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・衛生管理者1名及び衛生推進者2名につき、資格取得のための講習会派遣、資格試験の受験料、合格後の登録料の助成等を実施した。 ・資格者不在の施設につき研修の受講勧奨を行ったが、令和5年度は該当施設が2か所であったため、実績値が目標値の4割程度となり、本評価とした。						

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ⑦ 職員の健康管理

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																								
118	衛生管理の推進	2・概ね達成	-	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">定期健康診断及び人間ドック等の受診率 【令和元年度：91】 (%)</th></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>91</td><td>91</td><td>91</td><td>91</td><td>91</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>89.5</td><td>89.6</td><td>88.5</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・次のとおり定期健康診断を実施した。 - 実施日：令和5年7月10日・12日～14日・24日・26日～28日 - 実施場所 バストラルかぞ ・上記診断未受診者に対し、人間ドック等の受診勧奨を個別メールで送信した。 ・未受診者等への受診を促したことにより、実績値が目標値の97.2%に達したため、本評価とした。	指標(単位)	定期健康診断及び人間ドック等の受診率 【令和元年度：91】 (%)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	91	91	91	91	91	実績	89.5	89.6	88.5			・引き続き、職員の健康診断の実施、未受診者への受診勧奨を行い、職員の健康管理に努めていく。
指標(単位)	定期健康診断及び人間ドック等の受診率 【令和元年度：91】 (%)																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	91	91	91	91	91																								
実績	89.5	89.6	88.5																										
119	心の健康づくり計画の推進	3・やや遅れている	-	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">メンタル系疾患による1箇月以上の病休・休職した職員の割合 【令和元年度：2.2】 (%)</th></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>1.9</td><td>1.9</td><td>1.9</td><td>1.9</td><td>1.9</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>2.3</td><td>3.4</td><td>3.0</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・ストレスチェックの実施（実施期間：令和5年7月14日～28日） ・各部課選出職員向けメンタルヘルス（セルフケア）研修の実施（実施日：令和5年7月21日 修了者41人） ・管理職向けメンタルヘルス（ラインケア）研修の実施（実施日：令和5年8月2日 修了者57人） ・産業医（精神科）による健康相談（12回） ・心の健康づくり計画の各取組を実施し、令和4年度から割合は減少したものの、引き続き高い数値にあるため、やや遅れているとした。	指標(単位)	メンタル系疾患による1箇月以上の病休・休職した職員の割合 【令和元年度：2.2】 (%)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	実績	2.3	3.4	3.0			・引き続き、「加須市職員 心の健康づくり計画」に基づいて各取組を実施し、職員の健康管理に努めていく。 ・職員が仕事をしやすい環境づくりや働き方改革を推進する。
指標(単位)	メンタル系疾患による1箇月以上の病休・休職した職員の割合 【令和元年度：2.2】 (%)																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9																								
実績	2.3	3.4	3.0																										
120	ワーク・ライフ・バランスの徹底【再掲(-101)】	1・目標を達成	-	<table border="1"> <tr> <th>指標(単位)</th><th colspan="5">ワーク・ライフ・バランスデーに定時退庁した職員の割合 【令和元年度：97】 (%)</th></tr> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>97</td><td>97</td><td>97</td><td>97</td><td>97</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>98.5</td><td>98.2</td><td>98.9</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・全庁的に実施する年6回のワーク・ライフ・バランスデー及び各課で年6回のワーク・ライフ・バランスデーを設定し、設定日当日は、グループウェア、庁内放送、各所属長から周知した。 ・定時退庁した職員の割合が増加し、職員への制度浸透が図られ、目標を達成した。	指標(単位)	ワーク・ライフ・バランスデーに定時退庁した職員の割合 【令和元年度：97】 (%)					年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	97	97	97	97	97	実績	98.5	98.2	98.9			・引き続き、各月のグループウェアへの掲載と、入力確認を行う。
指標(単位)	ワーク・ライフ・バランスデーに定時退庁した職員の割合 【令和元年度：97】 (%)																												
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																								
目標	97	97	97	97	97																								
実績	98.5	98.2	98.9																										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
- 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
- 取組項目群 ⑧ 優れた能力・資質を有する人材の確保

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
121	職員採用試験の見直し	1・ 目標を達成	-	指標(単位)	職員採用試験の実施内容の見直し 【令和元年度：3】 (件)					・引き続き、優れた能力、資質を有する人材の確保に努めていく。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	2	2	2	2	2	
				実績	2	2	2			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・人づくり広域連合が7月に開催した「埼玉縣市町村職員採用合同説明会」及び「オンライン相談会」に参加し、積極的にPRした。 ・採用に関する情報（ポスターなど）を、市ホームページ等で積極的に提供した。 ・他市町村との差別化を図るため、「加須市職員採用情報フォーラム」を1月にオンラインで開催した。 ・最も利用された就職情報サイトNo. 1であるマイナビに企業情報を掲載した。 ・より人物重視の選考にするため、中堅職員面接を実施した。 ～令和5年度見直し～ ①申込方法を「加須市電子申請・届出サービス」によるWeb申込に変更した。 ②募集職種に一般事務（スポーツ枠）を新設した。 ・Webによる申込方法及び募集職種の見直しを図った上で、採用試験を実施したため目標達成とした。							

「市役所力」の向上

- 基本目標
- 5 効果的で効率的な自治体経営
- 施策
- (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
- 取組項目群
- ⑨ 組織・機構の再編

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
122	組織・機構の再編	2 ・ 概 ね 達 成	-	指標(単位) 組織・機構の見直し 【令和元年度：実施】	・引き続き、各部課への調査・ヒアリングにより課題の把握に努める。 ・組織の見直し、事務の効率化、民間委託等の推進などにより、簡素で効率的な組織づくりを進める。
				年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
				目標 実施 実施 実施 実施 実施	
				実績 実施 実施 実施	
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・職員の定員管理を図りつつ、今後、更なる少子化・高齢化の進展が見込まれるなかで、市民ニーズを的確に捉えつつ、安定的かつ一体的な行政サービスの提供が行える体制とするため、令和6年度組織等の見直しを行った。 ① スポーツ振興課を市長部局へ移管 ② 都市計画課の新設 ③ DX推進課の新設 ④ 業務改善課「改善推進担当」所掌事務を政策調整課、DX推進課及び職員課へ分散 ⑤ いきいき健康医療課の新設 ⑥ 市民相談室を人権・男女共同参画課へ統合 ⑦ 文化・学習センターを生涯学習課へ統合 ⑧ 危機管理防災体制の強化に伴う危機管理監の設置 ⑨ 本庁資源リサイクル課を加須クリーンセンターへ移転 ・部課数 17部局支所52課室（令和6年度）前年度比較2課減 ・上記のような見直しを実施し、本評価とした。	

「市役所力」の向上

- 基本目標
- 5 効果的で効率的な自治体経営
- 施策
- (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
- 取組項目群
- ⑩ 適切な定員管理

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
123	業務量に対応した 定員管理の実施	2・ 概ね 達成	-	指標(単位) 定員の見直し【令和元年度：696】・	- 令和6年度の組織改正により、定員管理が職員課へ業務移管したことから、政策調整課と共同で、各部課への調査・ヒアリングを実施し、課題の把握に努める。 - 政策調整課による組織改正と連携しながら、業務量に応じた必要な人員を確保に努め、適切な定員管理を実施する。
			-	年度 3年度 (決算)	
			-	目標 実施	
			-	実績 実施	
			-	年度 4年度	
			-	5年度	
			-	6年度	
			-	7年度 (目標年)	
			-	目標 実施	
			-	実績 実施	
			-	【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】	
			-	・定員管理については、将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要に対しても的確に対応していくため、業務量に応じた必要な人数を確保するとともに、業務の効率化や組織の見直しなど、定員管理を実施した。	
			-	・職員数（令和6年4月1日時点）	
			-	令和5年度 700人 ⇒令和6年度 691人（▲9人）	
			-		

「市役所力」の向上

- 基本目標
 5
 効果的で効率的な自治体経営
- 施 策
 (3)
 職員の能力開発と時代に合った組織管理
- 取組項目群
 ⑪
 民間委託などの推進

【評価】は4段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている）

No	取 組 項 目	評 価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
124	業務委託の推進	2・ 概 ね 達 成	－	指標(単位)	新たに委託する（指定管理者制度の導入含む。）業務の 数 【令和元年度：2】					(件)	・組織や予算のヒアリング時において、施設の管理・運営を主体とした業務について、指定管理者制度の導入とともに委託の検討を更に進める。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	1 以上	1 以上	1 以上	1 以上	1 以上		
				実績	1	1	1				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新たな指定管理者制度の導入はなかったが、令和5年11月から市長車の運行業務を一部委託することにより、運転職員不足への対応や業務負担軽減を行ったものの、業務委託が考えられる事務も多くあることから、本評価とした。								

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ⑫ 若手や女性の積極的登用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの 評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等					
125	昇任制度の運用	2・概ね達成	1・指標(単位)	4月1日現在の管理職に占める女性職員の割合 【令和元年度：22】	・昇任試験の実施については、各部課長から該当者に周知してもらうなど、男女を問わず昇任試験を受験するよう周知する。また、グループウェアでもこまめに周知する。					
			年度	3年度(決算)		4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	22		23	23	24	25	
			実績	22.3		22.3	24.1			
			3・やや遅れている	指標(単位)		新たに受験資格を満たした職員の「主幹」・「主査」試験受験率 【令和元年度：主幹56・主査70】				(%)
			年度	3年度(決算)		4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
			目標	主査50 主幹70		主査50 主幹70	主査50 主幹70	主査50 主幹70	主査50 主幹70	
			実績	主査45.5 主幹38.9		主査70.6 主幹27.3	主査84.6 主幹10.0			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
			・女性管理職数 49人／管理職数 203人 (24.1%) ・新規昇任試験受験資格者の受験率 ①主幹職：受験者数 1人／対象者数 10人(＝受験率 10.0%) ②主査職：受験者数 11人／対象者数 13人(＝受験率 84.6%) ・管理職に占める女性職員の割合については、わずかに目標値を上回った。 ・昇任試験の受験率については、主査職は目標値を大幅に上回ったが、主幹職は大幅に下回った。							
126	若手や女性職員によるプロジェクトチームの編成	1・目標を達成	-	指標(単位)	プロジェクトチームにより具現化された提案数 【令和元年度：提案数8】	(件)				
			年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
			目標	6	6	6	6	6		
			実績	5	7	6				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
			・「さ・あ・き・み・に」五感で伝える15周年」をテーマとして、プロジェクトチームによる提案がされた。 ・プロジェクトチームによる提案のうち、6本の提案が実施されることとなり、「合併15周年における五感を最大限に使った記憶に残るような取組」の検討・事業化を行ったことから、本評価とした。							

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
- 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
- 取組項目群 ⑬ 人事交流の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等
127	県・民間企業など との人事交流	1・ 目標を 達成	-	指標(単位)	県や民間企業等へ派遣した職員の数 【令和元年度：10】 (人)					・今後も埼玉県等との積極的な人事交流を図る。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
				目標	8	8	8	8	8	
				実績	7	9	10			
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】							
・埼玉県への派遣 4人 (市町村課 1人、文書課 1人、行田県土整備事務所 2人)										
・(一社) 地域活性化センター 1人										
・彩の国さいたま人づくり広域連合 1人										
・(福) 加須市社会福祉協議会 1人										
・内閣府防災担当 1人										
・国土交通省利根川河川事務所 1人										
・埼玉県後期高齢者医療広域連合 1人										

「市役所力」の向上

- 基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
- 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
- 取組項目群 ⑭ トップマネジメントの強化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標ごとの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・今後の取組内容等																									
128	マネジメント研修の実施	2・概ね達成	-	<table><tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">マネジメント研修において受講前に設定した受講目標が達成できた職員の割合【令和元年度：90】</td><td>(人)</td></tr><tr><td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr><tr><td>目標</td><td>95</td><td>95</td><td>95</td><td>95</td><td>95</td></tr><tr><td>実績</td><td>86</td><td>84.5</td><td>80</td><td></td><td></td></tr></table>	指標(単位)	マネジメント研修において受講前に設定した受講目標が達成できた職員の割合【令和元年度：90】					(人)	年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	95	95	95	95	95	実績	86	84.5	80			・引き続き、マネジメント研修を実施し、マネジメント力の強化を図る。
				指標(単位)	マネジメント研修において受講前に設定した受講目標が達成できた職員の割合【令和元年度：90】					(人)																				
				年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																					
				目標	95	95	95	95	95																					
				実績	86	84.5	80																							
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・課長以上の職員等を対象にメンタルヘルス（ラインケア）研修を実施（実施日：令和5年8月2日 修了者57人） ・課長以上の職員等を対象に人事評価（評価者）研修を実施（実施日：令和5年10月18日 修了者74人） ・自主研修の効果測定において、実績値が目標値の8割に達したため、本評価とした。																														
129	人事評価(能力評価・業績評価)制度の推進	2・概ね達成	-	<table><tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">人事評価（能力評価・業績評価）制度の推進【令和元年度：実施】</td><td></td></tr><tr><td>年度</td><td>3年度(決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度(目標年)</td></tr><tr><td>目標</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td></tr><tr><td>実績</td><td>実施</td><td>実施</td><td>実施</td><td></td><td></td></tr></table>	指標(単位)	人事評価（能力評価・業績評価）制度の推進【令和元年度：実施】						年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実績	実施	実施	実施			・人事評価制度を適正に運用する。
				指標(単位)	人事評価（能力評価・業績評価）制度の推進【令和元年度：実施】																									
				年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)																					
				目標	実施	実施	実施	実施	実施																					
				実績	実施	実施	実施																							
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・課長以上の職員等を対象に人事評価（評価者）研修を実施した。（実施日：令和5年10月18日 修了者74人） ・人事評価制度（能力評価及び業績評価）を適正に実施し、評価結果を処遇等へ反映するとともに、人事異動や昇任の参考とした。																														

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (3) 職員の能力開発と時代に合った組織管理
 取組項目群 ⑮ 組織マネジメントの整備・運用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取 組 項 目	評 価	指 標 こと の評 価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
130	リスクマネジメントの適正な運用	2・概ね達成	2・概ね達成	指標(単位)	適正な契約事務の執行率 【令和元年度：100】 (%)						・契約事務において、疑念等を抱かれないよう引き続き適正に契約事務を遂行していく。 ・「リスクマネジメント基本方針」に基づき、リスクに対する更なる組織体制の強化に努める。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
				実績	100	100	99				
			1・目標を達成	指標(単位)	発生した各リスクへの対応率 【令和元年度：運用】 (%)						
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	100	100	100	100	100		
				実績	100	100	100				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】								
			・入札及び随意契約事務において、ガイドライン等に基づいた執行を適正に実施した。 ・加須市リスクマネジメント基本方針に基づき、リスクの事前対策を推進するとともに、リスク管理表の更新を行い、リスク予防・対策の見直しを行った。								

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営
 施策 (4) 公共施設等の適正な配置
 取組項目群 ① 公共施設等の適正な配置の実現

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 ことの評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析	分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等																		
131	老朽化対策と統廃合に向けた取組の推進	2・概ね達成	-	指標(単位) 統廃合を実施した施設 【令和元年度：1】 (施設) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・「加須市公共施設等総合管理計画」及び「加須市公共施設等個別施設計画」に基づき、施設を廃止したものの、引き続き統廃合に向けた取組を進めていく必要があり、本評価とした。 ①北川辺学校給食センター ②第三保育所	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	3	1	1	1	1	実績	3	3	2			・財政規模や人口の推移等を視野に入れた公共施設の適正配置の実現を目指す。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	3	1	1	1	1																		
実績	3	3	2																				
132	業務委託の推進【再掲(-124)】	2・概ね達成	-	指標(単位) 新たに委託する（指定管理者制度の導入含む。）業務の数 【令和元年度：2】 (件) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>1以上</td><td>1以上</td><td>1以上</td><td>1以上</td><td>1以上</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・新たな指定管理者制度の導入はなかったが、令和5年11月から市長車の運行業務を一部委託することにより、運転職員不足への対応や業務負担軽減を行ったため、本評価とした。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	実績	1	1	1			・組織や予算のヒアリング時において、施設の管理・運営を主体とした業務について、指定管理者制度の導入とともに委託の検討を更に進める。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上																		
実績	1	1	1																				
133	資産の有効活用等【再掲(-90)】	1・目標を達成	-	指標(単位) 未利用市有地（普通財産・土地）の売却又は利活用決定件数 【令和元年度：2】 (件) <table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>3年度 (決算)</td><td>4年度</td><td>5年度</td><td>6年度</td><td>7年度 (目標年)</td></tr> <tr> <td>目標</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>8</td><td>4</td><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table> 【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・公売等により2件の普通財産を売却し、目標を達成した。	年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	目標	2	2	2	2	2	実績	8	4	2			・市有財産管理運用委員会を開催し、未利用財産の利活用について区分けを行う。 ・財産の取得・処分検討委員会を開催し、未利用財産の公売に向けて諮問を行う。
年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)																		
目標	2	2	2	2	2																		
実績	8	4	2																				

「市役所力」の向上

基本目標 5 効果的で効率的な自治体経営

施策 (5) 広域行政の推進

取組項目群 ① 広域的な取組の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目	評価	指標 こと の評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析						分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
134	公共施設の相互利用の推進	1・目標を達成	-	指標(単位)	広域行政連携を目的に参画している協議会等の数 【令和元年度：3】						・引き続き、関東どまんなかサミット会議及び北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会の構成市町や、協定を締結している久喜市とともに各種連携事業を推進していく。
				年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
				目標	3	3	3	3	3		
				実績	3	3	3				
				【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ・関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会への参画、久喜市との協定締結により、公共施設の相互利用等の連携事業等を実施し、目標を達成した。							